

◆◆Memo◆◆

Blank lined area for notes.

/ 100点

| | | 解答 番号 | 正解 | 正誤 ○× | 配点 |
|--------------|----|----------|----|----------|----|
| 第1問 (6点) | 問1 | 1 | ㉔ | | 2 |
| | 問2 | 2 | ㉔ | | 2 |
| | 問3 | 3 | ㉑ | | 2 |
| 第2問 (12点) | 問1 | 4 | ㉑ | | 2 |
| | 問2 | 5 | ㉔ | | 3 |
| | 問3 | 6 | ㉓ | | 3 |
| | 問4 | 7 | ㉑ | | 2 |
| | 問5 | 8 | ㉓ | | 2 |
| 第3問 (9点) | 問1 | 9 | ㉔ | | 3* |
| | | 10 | ㉑ | | |
| | | 11 | ㉔ | | |
| | | 12 | ㉓ | | |
| | 問2 | 13 | ㉔ | | 3 |
| 問3 | 14 | ㉔ | | 3 | |
| 第4問 (12点) | 問1 | 15 | ㉑ | | 3 |
| | 問2 | 16 | ㉓ | | 3 |
| | 問3 | 17 | ㉔ | | 3 |
| | 問4 | 18 | ㉑ | | 3 |
| 第5問 (16点) | 問1 | 19 | ㉓ | | 3 |
| | 問2 | 20 | ㉓ | | 2 |
| | | 21 | ㉔ | | 2 |
| | 問3 | 22 | ㉔ | | 3 |
| | 問4 | 23 | ㉓ | | 3 |
| 問5 | 24 | ㉔ | | 3 | |

| | | 解答 番号 | 正解 | 正誤 ○× | 配点 |
|--------------|----|----------|----|----------|----|
| 第6問 (12点) | 問1 | 25 | ㉔ | | 3* |
| | | 26 | ㉑ | | |
| | | 27 | ㉓ | | |
| | | 28 | ㉔ | | |
| | 問2 | 29 | ㉔ | | 3 |
| | 問3 | 30 | ㉑ | | 3* |
| | | 31 | ㉓ | | |
| | 問4 | 32 | ㉔ | | 3 |
| 第7問 (16点) | 問1 | 33 | ㉓ | | 4 |
| | 問2 | 34 | ㉔ | | 4 |
| | 問3 | 35 | ㉔ | | 4 |
| | | 36 | ㉓ | | |
| | 問4 | 37 | ㉓ | | 4* |
| 第8問 (17点) | 問1 | 38 | ㉔ | | 3 |
| | 問2 | 39 | ㉑ | | 3 |
| | 問3 | 40 | ㉓ | | 4* |
| | | 41 | ㉔ | | |
| | | 42 | ㉔ | | |
| 問4 | 43 | ㉔ | | 3 | |
| 問5 | 44 | ㉑ | | 4 | |

*印は完答のみ正解とする。
解答番号30・31、36・37および40・41
の正解は順序を問わない。

問1

According to the advertisement, 1.

- 1 paying for five lessons gets a 5% discount
2 some instructors speak foreign languages
3 the charge for concerts is ¥3,000
4 voice students can get 10 lessons for ¥30,000

訳 広告によれば, 1.

- 1 5回分のレッスン料を払うと5%割引になる
2 外国語を話すインストラクターもいる
3 コンサートの料金は3,000円である
4 発声の生徒は10回のレッスンが3万円で受けられる

選択肢の研究

- 1 L17 「5%割引になるのは正式な身分証明書を持っている生徒と65歳以上の高齢者」なので、不一致。
2 L3~4 「日本語、英語、フランス語、ドイツ語、中国語を話すインストラクターがいる」とあるので、一致。
3 コンサートの料金についての言及はないので、不適。
4 L13 「発声は1回4,000円」、10回で4万円。L17~18 「前金の10%割引」でも3万6千円。不一致。

問2

The rules state that all SAM students must 2.

- 1 have access to the Internet to study at home
2 pay an initial amount to become a member
3 show a recognized form of personal identification
4 take lessons in either Japanese or English

訳 SAMの生徒は全員 2 なくてはならないと規則にある。

- 1 自宅学習のためにインターネットにアクセスでき
2 メンバーになるために初期費用を払わ
3 確認できる形式の個人IDを見せ
4 日本語か英語のどちらかでレッスンを受け

選択肢の研究

- 1 インターネット環境の必要性は言及なく、不一致。
2 L16 「生涯登録料金は「初期費用」と同義と判断できる。よって一致。
3 L17 「正式な身分証明書を持つ生徒は割引になる」とあるが、全員の提示義務について記述はなく、不一致。
4 L19 「追加料金によって、日本語と英語以外の言語でレッスンが受けられる」とある。不一致。

問3

SAM guarantees that 3.

- 1 each student has an opportunity to perform
2 every SAM concert is available to view online
3 instructors respond to all student feedback posted
4 students will be sent reference material by e-mail

訳 SAMは 3 ことを保証している。

- 1 それぞれの生徒に演奏する機会がある
2 SAMの各コンサートはオンラインで見ることができる
3 インストラクターたちはすべての生徒の投稿された意見に返事をする
4 生徒たちにはeメールで参考資料が送られる

選択肢の研究

- 1 L23 「全生徒に、四半期ごとに演奏の機会がある」に一致。
2 L26 「厳選された(selected)過去のコンサート」が見られるとある。「すべて」ではないので不一致。
3 「生徒の意見の投稿先」はL28に示されているが、その返事についての記述はない。不一致。
4 L27より「参考資料」がオンラインで見られることがわかるが、メールで送るという記述はない。不一致。

訳 あなたは英語と音楽を学ぼうと考えています。あるウェブサイト上に、音楽教室の面白そうな広告を見つけました。

シンフォニー・アカデミー・オブ・ミュージック

音楽とは、誰もが楽しめるもの。楽譜の読み方、楽器の演奏の仕方、歌い方を学びましょう。

1954年に日本橋に設立されたSAMは、10万人以上の熟達した音楽家を輩出してきました。SAMは日本語、英語、フランス語、ドイツ語、そして中国語を話すインストラクターを擁する日本で唯一の音楽学校です。どんなレベルの生徒も歓迎します。

登録方法

www.samusic.co.jp/moshikomiでオンラインで登録するか、0120-xxx-xxxにお電話ください。

料金(税込み)

- ・生涯登録料 ¥5,000 ・ピアノ ¥3,000 (1講座あたり)
・管楽器 ¥3,000 (1講座あたり) ・弦楽器 ¥3,000 (1講座あたり)
・打楽器 ¥3,500 (1講座あたり) ・発声 ¥4,000 (1講座あたり)
・特殊楽器(ウクレレ、バンジョーなど) ¥4,500 (1講座あたり)

生徒は全員、「生涯登録料金を」払う必要があります。会員資格が失効することはありません。正式な身分証明書を持っている生徒と65歳以上の高齢者は5%の割引があります。レッスン10回分のクーポンブックに前金で支払われると、10%割引が適用されます。クーポンブックは受付で入手可能です。日本語と英語以外の言語でのレッスンには、追加料金が適用されます。

主要クレジットカード利用可能。

詳しい情報はこちらをご覧ください: www.samusic.co.jp/index

特別サービス

- ▶ 年4回の生徒によるリサイタル/コンサート。すべての生徒に、四半期ごとに演奏する機会があります。
▶ eメールでのオンラインセミナーへのご招待
▶ 新しいポッドキャストと教育ビデオは: www.samusic.co.jp/video
▶ 以前のポッドキャストと厳選された過去のコンサートは: www.samusic.co.jp/archives
▶ コード表と参考資料は: www.samusic.co.jp/ref
▶ 生徒の意見と最新ニュースは: www.blog.samusic.co.jp.

K・沼田 SAM代表取締役会長 M・成瀬 SAM常務取締役 E・村本 音楽指揮者、主任音楽コンサルタント

選択肢の正誤を素早くスキャンする

問1: 広告に書かれていることはどれか。

【選択肢】

▶ ② 「外国語を話すインストラクターもいる」

【広告】 3~4行目

・「SAMは日本語、英語、フランス語、ドイツ語そして中国語を話すインストラクターを擁する…」

設問文の条件で情報を絞り込む

問2: SAMの生徒がしなければならないと規則に書かれているものは何か。

【選択肢】

▶ ② 「メンバーになるために初期費用を払う」

【広告】 16行目

・「生徒は「生涯登録料金を」支払うことが要求される」

設問文の条件で情報を絞り込む

問3: SAMが保証していることは何か。

【選択肢】

▶ ① 「それぞれの生徒に演奏する機会がある」

【広告】 23行目

・「すべての生徒は、四半期ごとに演奏する機会を得る」

You are thinking of learning English and music. On a website, you found an advertisement for a music class that looks interesting.

Symphony Academy of Music

Music is something everyone can enjoy. Learn to read music, play an instrument or sing.

Established in Nihonbashi in 1954, SAM has trained more than 100,000 accomplished musicians. SAM is the only music school in Japan with Japanese, English, French, German and Chinese-speaking instructors. Students of any level are welcome.

How to Register

Go online to register at www.samusic.co.jp/moshikomi or call 0120-xxx-xxx

Rates (tax included)

- ・Lifetime Registration Fee ¥5,000
・Piano ¥3,000 per session
・Wind instruments ¥3,000 per session
・String instruments ¥3,000 per session
・Percussion ¥3,500 per session
・Voice ¥4,000 per session
・Specialty instruments (ukulele, banjo, etc.) ¥4,500 per session

問2 All students are required to pay the "Lifetime Registration Fee." Membership never expires.

Students with official ID cards and seniors age 65+ receive a 5% discount. A 10% discount will apply when coupon books for ten lessons are paid for in advance. Coupon books are available at the front desk. Extra fees apply to lessons in languages other than Japanese or English.

All major credit cards accepted.

For further details confer: www.samusic.co.jp/index

Special Services

- ▶ Quarterly student recitals/concerts. Every student gets a chance to perform, every quarter.
▶ Invitations to webinars by e-mail
▶ New podcasts and instructional video at: www.samusic.co.jp/video
▶ Earlier podcasts and selected past concerts at: www.samusic.co.jp/archives
▶ Chord charts and reference material at: www.samusic.co.jp/ref
▶ Student feedback and recent news at: www.blog.samusic.co.jp

K. Numata, Chairman, SAM

M. Naruse, Executive Director, SAM

E. Muramoto, Musical Conductor and Chief Musical Consultant

語句・表現

- 問1 ① discount 「割引、値引き」 1.0 symphony 「交響曲」 1.18 apply 「適用される」
問1 ② instructor 「インストラクター、講師」 1.0 academy 「学園、専門学校」 1.18 in advance 「前もって、前金で」
1.1 instrument 「楽器、機器」 1.19 extra fee 「追加料金」
問2 state 「述べる」 1.2 establish 「設立する」 1.20 accept 「受け入れる」
1.2 accomplished 「熟達した、名人級の」 1.21 further 「さらなる」
1.5 register 「登録する」 1.21 detail 「詳細」
1.7 rate 「料金、価格」 1.21 confer 「参照する」
1.7 tax included 「税込み」 1.23 quarterly 「年4回の、3か月ごとの」
1.8 lifetime 「生涯の、一生の」 1.24 webinar 「ウェビナー(ウェブ+セミナー)、オンラインセミナー」
1.8 registration 「登録」 1.25 podcast 「ポッドキャスト(インターネットラジオ・映像配信)」
1.8 fee 「料金」 1.10 wind instrument 「管楽器」 1.25 instructional 「教育の」
1.11 string instrument 「弦楽器」 1.27 chord chart 「コード表」
1.12 percussion 「打楽器」 1.29 chairman 「会長、社長」
1.14 specialty 「専門、特殊」 1.30 executive director 「常務取締役」
1.16 membership 「会員資格」 1.31 conductor 「指揮者」
1.16 expire 「有効期限が切れる、失効する」

Your teacher from the UK gave you an article to help you prepare for the debate in the next class. A part of this article with comments is shown below.

Homework Break in West Head

by Peter Wild, West Head

12 June / 2.54 PM

A recent decision by a board of education on the subject of homework has led to strong reactions from various groups. The West Head Education board announced it would be doing a practice 'no-homework' trial for a year beginning in September 2019. The plan will apply to all primary and secondary school students.

Les Hale, spokesperson for the West Head Board, explained, "We have to think about the stress and worries that our youngsters experience these days due to the pressures they face in their lives. When you add homework to the usual school day, children are putting in more hours a week than adults do at work." He added, "We think this move will also allow families more chances to eat at the same time, have fun and make sure their children are getting to bed at a normal time."

Despite this, some people have different opinions about homework. One father said, "It's a window into their education. We can't give them support if we don't know what they're studying." Another mother said, "Homework gives children a sense of pride. When they are able to answer homework questions about what they learnt at school, their confidence grows. These sorts of habits are good practice for the future."

65 Comments

Latest

Sally Mercer 19 June / 11.14 PM

I wish the school I teach at were in West Head! I'm writing this tonight just after checking another 50 maths papers. Being free of homework would leave us with more energy to use in the classroom to give fun lessons to our students.

全訳

英国出身のあなたの先生が、次の授業でのディベートの準備に役立てるために、あなたにある記事を与えました。このコメント付きの記事の一部が下に示されています。

ウェスト・ヘッドにおける宿題の中止

ピーター・ワイルド、ウェスト・ヘッド
6月12日午後2時54分

1 宿題という主題に関するある教育委員会による最近の決定が、さまざまな団体からの強い反応を引き起こした。
2 ウェスト・ヘッド教育委員会は、2019年9月から始まる1年間、「宿題なし」を施行するつもりだと発表した。
3 この計画は、すべての小学校、中等学校の生徒に適用される。
4 ウェスト・ヘッド教育委員会の代表レス・ヘイルは、「私たちは、生活の中で直面しているプレッシャーが原因で

子供たちが近年経験しているストレスや不安に関して考えなければなりません。
5 普段学校に通う日に宿題を加えると、子供たちは、大人が働いている時間よりも週に多くの時間を費やしているのです」と説明した。
6 彼は、「私たちは、この変化によって、家族が同じ時間に食事をする、そして楽しく過ごす、さらに子供たちが必ず正常な時間に就寝するようになる可能性が増すと考えています」と付け加えた。
7 それにもかかわらず、宿題について異なる意見を持つ人々もいる。
8 ある父親は「それは彼らの教育への窓なのです。
9 彼らが何を勉強しているのかを私たちが知らなければ、彼らを支援することができません」と言った。
10 別の母親は「宿題は子供たちに自尊心を与えます。
11 彼らが学校で学んだことに関する宿題の問題に答えることができる時、彼らの自信は増すのです。
12 この種の習慣は将来のためのよい練習です」と言った。

(*以降の全訳は part 2 を参照)

語句・表現

- article 「記事」
- prepare for ~ 「~の準備をする」
- debate 「ディベート、討論会」
- break 「中断、中止」
- decision 「決定」
- primary school 「(英国の) 小学校」
- secondary school 「(英国の) 中等学校 (11~16歳までの生徒が通う)」
- board 「委員会」
- subject 「主題」
- lead to ~ 「~を引き起こす」
- reaction 「反応」
- various 「さまざまな」
- trial 「試行」
- apply to ~ 「~に適用される」
- spokesperson 「代表」
- youngster 「子ども、若者」
- due to ~ 「~が原因で」
- pressure 「プレッシャー」
- face 「直面する」
- add A to B 「AをBに加える」
- put in 「費やす」
- move 「動き、変化」
- allow A B 「AにBを与える」
- make sure ~ 「必ず~する」
- normal 「正常な、通常の」
- despite 「~にもかかわらず」
- confidence 「自信」
- maths 「数学」(米国では math)
- free of ~ 「~がない」

問1

According to the announcement in the article, students will experience a twelve month period when they will [4].

- 1 be free from having to do any homework assignments
- 2 be given homework set by the board of education
- 3 face strict penalties if they forget to do their homework
- 4 have to do homework without help from parents

【訳】 記事の発表によれば、生徒たちは [4] 12ヶ月という期間を経験するだろう。

- 1 宿題をしなければならないことから解放される
- 2 教育委員会によって定められた宿題が与えられる
- 3 宿題をするのを忘れたら厳しい罰に直面する
- 4 親からの助けなしに宿題をしなければならない

選択肢の研究

- 1 第1段落第2文に一致。「宿題なし」の試行」とある。
- 2 「教育委員会が宿題を与える」という記述はない。
- 3 「宿題を忘れたときの罰」に関する記述はない。
- 4 「親からの助けなしに宿題をする」ことの必要性に関する記述はない。

【語句】 period 「期間」 strict 「厳しい」 penalty 「罰」

問2

Your team will support the debate topic, "Homework is not a necessary part of education." In the article, one opinion (not a fact) helpful for your team is that [5].

- 1 an educational board voted to never have homework again
- 2 not having homework may give families more time together
- 3 there is no data to show homework improves grades
- 4 there is too much homework for children to finish

【訳】 あなたのチームは「宿題は教育の必要の一部ではない」というディベートの論題を支持する。記事の中で、あなたのチームにとって役に立つ意見(事実ではない)は [5] である。

- 1 教育委員会が二度と宿題を出さないことに賛成の投票をした
- 2 宿題がないことは家族と一緒に過ごすより多くの時間を提供するかもしれない
- 3 宿題が成績を向上させることを示すデータはない
- 4 宿題が多すぎて子供たちはやり終えることができない

選択肢の研究

- 1 これは事実に関する記述であり、意見ではない。また、「二度と宿題を出さない」は第1段落第2文の「1年間の試行」に不一致。
- 2 第2段落第3文に一致。「私たちは~と考える」とあるので、これは意見である。
- 3 「宿題が成績を向上させるデータの有無」に関する記述はない。
- 4 「子供たちが宿題をやり終えられるかどうか」に関する記述はない。

【語句】 vote 「投票する」 grade 「成績」

問3

The other team will oppose the debate topic. In the article, one opinion (not a fact) helpful for that team is that [6].

- 1 checking homework is not so hard for the teacher
- 2 children spend as long doing homework as adults spend at work
- 3 finishing homework can be satisfying for a student
- 4 homework can help children who cannot attend cram school

【訳】 もう1つのチームはそのディベートの論題に反対する。記事の中で、そのチームにとって役に立つ意見(事実ではない)は [6] である。

- 1 宿題をチェックすることは教師にとってそれほど大変ではない
- 2 子供は、大人が仕事をするのと同じくらい長い時間、宿題をやることに費やしている
- 3 宿題を終えることは、生徒たちにとって満足できることになりうる
- 4 宿題は、学習塾に通えない子供に役立つことがある

選択肢の研究

- 1 サリー・マーサーのコメントの第2文に不一致。
- 2 これは事実に関する記述であり、意見ではない。また「同じくらい長い時間」は第2段落第2文の「大人より長い時間」に不一致。
- 3 第3段落第4、5文の母親の意見に一致。
- 4 「学習塾」に関する記述はない。

【語句】 satisfying 「満足を与える」
cram school 「学習塾」

問4

In the 3rd paragraph of the article, "It's a window into their education" means that homework [7].

- 1 gives parents an idea of what a child is studying
- 2 is best done at a desk in a bright room
- 3 is not the most important part of educating a student
- 4 must be checked by their teachers

【訳】 記事の第3段落中の「それは彼らの教育への窓である」は、宿題は [7] ということの意味している。

- 1 親に子供が何を勉強しているかを教える
- 2 明るい部屋で机に向かった場合に最もよく行われる
- 3 生徒たちを教育する最も重要な部分ではない
- 4 教師によってチェックされる必要がある

選択肢の研究

- 1 直後の第3段落第3文の内容「彼ら(子供たち)が何を勉強しているかを私たちが知らなければ、彼らを支援できない」とつながるので、これが正解。
- 2 「部屋の明るさ」に関する記述はなく、直後の第3文ともつながらないので、不適。
- 3 宿題の重要性が述べられている直後の文ともつながらないので、不適。
- 4 「誰が宿題をチェックするか」に関する記述はなく、直後の文ともつながらないので、不適。

You found the following story in a British pet magazine.

My Daughter and Our Dog

Lucas Miller

When my daughter Donna entered secondary school, she told me she wanted a dog. I showed her a leaflet for an animal shelter asking people to adopt abandoned dogs. I knew that teenagers like Donna always wanted a pet, but once they got one, they tended to lose interest. "Taking care of a dog is very big responsibility. You need to be very careful," I told her.

When we got to the shelter, there were so many dogs looking at us. I was sad because I knew that most of the dogs would not be able to stay there much longer even if they didn't find a new family. But at that moment, a little dog attracted my attention. It was a small, skinny toy poodle. I told Donna I wanted to take her home. She replied excitedly, "That's the one that I really want, too!" She and I were both delighted when we met the dog. She named her Peaches after one of her favourite trees in the garden.

Even three months after Peaches came home with us, Donna still took very good care of her. One day she told me, "Dad, come and look at what Peaches can do." Donna had trained the dog to find a pair of her mother's earrings that she had hidden. "Wow! When did you start teaching her?" I asked Donna, fascinated. "About two months ago," she said. "Peaches had so much fun learning. I think we should train her to be a police dog."

At first I was a little unsure about Donna's idea, but immediately I noticed that Peaches had an amazing memory. There were things she could do even better than the bigger dogs. A year later, I was deeply moved when I watched her at her police dog appointment ceremony. The morning Peaches began her work, I apologised to Donna. "I thought you'd get tired of taking care of Peaches after a month or so," I told her. She said, "Actually I started to get a little tired of it after a month. But Peaches really enjoyed her training, so I kept it up."

語句・表現

- 1.1 enter 「入る」
- 1.2 leaflet 「小冊子」
- 1.2 shelter 「保護施設」
- 1.2 adopt 「引き取る」
- 1.2 abandoned 「捨てられた」
- 1.3 once 「いったん～すれば」
- 1.4 tend to do 「～しがちだ」
- 1.4 take care of ～ 「～の世話をする」
- 1.4 responsibility 「責任」
- 1.8 attract 「引きつける」
- 1.9 attention 「注意」
- 1.9 skinny 「痩せこけた」
- 1.9 toy poodle 「トイプードル」
- 1.10 reply 「答える」
- 1.10 excitedly 「興奮して」
- 1.11 delighted 「大喜びで」
- 1.11 after ～ 「～にちなんで」
- 1.11 favourite 「お気に入りの」(米国では favorite)
- 1.15 train 「訓練する」
- 1.16 hide 「隠す」
- 1.16 fascinated 「興味をそそられて」
- 1.17 have fun doing 「～するのを楽しむ」
- 1.19 unsure 「確信がない」
- 1.19 immediately 「すぐに」
- 1.20 amazing 「驚くべき」
- 1.21 moved 「感動した」
- 1.22 appointment ceremony 「任命式」
- 1.22 apologise to ～ 「～に謝る」(米国では apologize to ～)
- 1.23 get tired of doing 「～することに飽きる」

全訳

あなたは英国のペット雑誌で以下の話を見つけました。

私の娘と私たちの犬

ルーカス・ミラー

① 娘のドナが中等学校に入学したとき、彼女は私に犬がほしいと言った。② 私は彼女に、捨てられた犬を引き取ってほしいと人々をお願いしている動物保護施設の小冊子を見せた。③ 私は、ドナのような10代の若者はいつもペットをほしがりますが、いったんペットを手に入れると興味を失いがちになることを知っていた。④ 「犬を世話することはとても大きな責任が伴うんだよ。⑤ よく注

意しなければならない」と私は彼女に言った。

⑥ 私たちが保護施設に着いたとき、とてもたくさんの犬がいて、私たちを見ていた。⑦ 私は、たとえ新しい家族が見つからなくても、その犬のほとんどはそこあまり長くいることはできないだろうということを知っていたので、悲しかった。⑧ しかし、そのとき、1匹の小さな犬が私の注意を引いた。⑨ それは小さくて痩せこけたトイプードルだった。⑩ 私はドナに、その犬を家に連れて帰りたいと言った。⑪ 彼女は興奮して「その犬、私もとてもほしいと思っていたの!」と答えた。⑫ 彼女と私は2人とも、その犬に出会ってとてもうれしくなっ

問1

According to the story, the writer's feelings changed in the following order: 9 → 10 → 11 → 12

- ① The author and his daughter were glad to find their dog.
- ② The author became interested in dog training.
- ③ The author was impressed with the results of his daughter's idea.
- ④ The author was sad when he thought about the dogs' life.

訳 話によれば、筆者の気持ちは次の順序で変わった: 9 → 10 → 11 → 12

- ① 筆者と娘は犬を見つけてうれしかった。
- ② 筆者は犬の訓練に興味を持った。
- ③ 筆者は娘の考えの結果に感動した。
- ④ 筆者は犬の人生を思っ悲しかった。

選択肢の研究

▶ 筆者は保護施設で引き取り手のない犬のことを悲しんだが(第2段落第2文)、筆者も娘も同じ犬を気に入ってうれしくなった(第2段落第7文)。娘が犬を訓練している様に興味をそそられた(第3段落第5文)一方、犬を警察犬にするという娘の考えに確信を持てなかったが、実際に犬が警察犬になれて感動した(第4段落第3文)。

語句 impressed 「感動した、感銘を受けた」

問2

The writer and Donna took a small dog home because 13 .

- ① he convinced her to do so
- ② she made a promise to take care of the dog
- ③ the dog had the same name as her favourite tree
- ④ they were both fascinated by the dog

訳 筆者とドナが1匹の小さな犬を家に持って帰ったのは 13 からだ。

- ① 彼がそうするように彼女を説得した
- ② 彼女がその犬の世話をすると約束した
- ③ その犬が彼女の好きな木と同じ名前だった
- ④ 2人ともその犬に夢中になった

た。④ 彼女は、庭にある彼女の大好きな木の1つにちなんで、その犬をピーチズと名付けた。

⑤ ① ピーチズが私たちの家に来て3か月たっても、ドナはまだとてもよく犬の世話をしていた。② ある日、彼女は「パパ、ピーチズが何ができるか見てみてよ」と私に言った。③ ドナは、彼女が隠した母親のイヤリングを見つけるように犬を訓練していたのだ。④ 「わあ。⑤ いっぴーチズの訓練を始めたの?」と私は興味をそそられてドナに尋ねた。⑥ 「2か月くらい前」と彼女は言った。⑦ 「ピーチズは覚えるのをとても楽しんだわ。⑧ ピーチズは訓練して警察犬にするべきだと思うな」

選択肢の研究

- ① 第2段落第6文に、ドナもその犬が欲しいと言って興奮している様子が書かれているので、「筆者が説得した」は不適。
- ② 「約束した」という記述がないため、不適。
- ③ 第2段落第8文の「好きな木の名前にちなんでピーチズと名付けた」のは、家に犬を連れて帰った後のことなので、不適。
- ④ 第2段落第3文、第5、6文の内容に一致するので、これが正解。

語句 convince 「説得する」

問3

From this story, you learnt that the writer 14 .

- ① realised that Donna should have trained Peaches
- ② wanted to know how Donna taught Peaches
- ③ was glad he had asked Donna to teach Peaches
- ④ was glad that Peaches became a police dog

訳 この物語から、あなたは筆者が 14 ということを知った。

- ① ドナはピーチズを訓練するべきだったと悟った
- ② ドナがどうやってピーチズを訓練したのかを知りたかった
- ③ 自分がドナにピーチズを訓練するように頼んでよかったと思った
- ④ ピーチズが警察犬になったことを喜んだ

選択肢の研究

- ① 実際に訓練をしたのだから「訓練するべきだった」は不一致。
- ② 「訓練の方法を知りたかった」という記述はない。
- ③ 第3段落第2、3文に不一致。ドナは誰にも頼まれずにピーチズを訓練していた。
- ④ 第4段落第3文に一致。

④ ① 最初、私はドナの考えにちょっと確信が持てなかったが、すぐにピーチズが驚くべき記憶力を持っていることに気づいた。② ピーチズがもっと大きな犬よりもずっとうまくできることはいくつもあった。③ 1年後、私は警察犬の任命式でピーチズを見て、深く感動した。④ ピーチズが仕事を始めた朝、私はドナに謝った。⑤ 「おまえは1か月かそこでピーチズの世話をするのに飽きるだろうと思っていたよ」と私は彼女に言った。⑥ 彼女は「実は、1か月して、私はちょっと飽き始めたの。⑦ でも、ピーチズが本当に訓練を楽しんでいたから、私は続けられたんだ」と言った。

In English class you are researching and writing an essay on a topic you are interested in. This is your most recent draft. You are now working on revisions based on comments from your teacher.

The Life of Yoshio Aoyama
Comment
(1) You are missing something here. Add more information between the two sentences to connect them.
(2) Add more information to match the content before and after.
(3) Insert a connecting expression here.
(4) If you have more information, add it here to fit the surrounding sentences.
Overall Comment:
Vincent van Gogh's paintings also were not appreciated until after his death. It is very difficult to always receive high praise during one's lifetime.

問1
Based on comment (1), which is the best sentence to add?
15
① However, he was almost completely unknown in Japan.
② However, he won many awards in art competitions.
③ However, his paintings sell for tens of millions of yen.
④ However, it was only after his death that he was accepted by the art world.
[訳] コメント(1)を踏まえると、付け加える文として最も適切なものはどれか。15
① しかし、彼は日本では全くと言っていいほど知られていなかった。
② しかし、彼は芸術コンクールで多くの賞を獲得した。
③ しかし、彼の絵は数千万円で売れる。
④ しかし、彼が芸術界に受け入れられたのは彼の死後だった。

選択肢の研究
▶ 選択肢がすべて However「しかしながら」で始まっていることから、直前の2文とは対立的な内容が入ることがわかる。
① 「日本では知られていなかった」という内容は、直前の2文の「青山はフランスでは大成功を収め、芸術家たちから尊敬されていた」という内容と対立している。よって、これが正解。
② ③ 直前の2文と対立的な内容になっていないので、不適。
④ 直前の2文と対立的な内容であるものの、フランスでは生前に彼の作品が評価されていたという第3段落の内容に矛盾するため、不適。

語句・表現
draft「下書き」
revision「修正」
earn on ~「~をもとに」
earn the respect of ~「~の尊敬を得る」
including ~「~を含む」
legendary「伝説的な」
Henri Matisse「アンリ・マティス(フランスの画家)」
work「作品」
if only ~「ただ~でさえあればいいのだが」
encounter「(偶然) 出会う」
prefecture「県」
northernmost「最北(端)の」
influence「影響を与える」
later「後の、晩年の」
natural scenery「自然の風景」
pack one's belongings「自分の持ち物をまとめる」
be accepted to ~「~に(入学などが)認められる」
academy「学会、アカデミー」
distinguish oneself「頭角を現す、群を抜く」
competition「競争、コンクール」
reputation「評判、名声」
recognize「認める」
sense of color「色彩感覚」
brilliant「見事な、(色が)鮮やかな」
問2 ④ establish oneself as ~「~としての地位を確立する」
問4 ① beg O for ~「Oに~を乞う[請う]」
問4 ② envy「うらやむ」

問2
Based on comment (2), which is the best sentence to add?
16
① He did not especially like it there.
② He helped his parents in their business from morning till night.
③ He played in huge green fields under clear blue skies.
④ He would establish himself as a professional painter there.
[訳] コメント(2)を踏まえると、付け加える文として最も適切なものはどれか。16
① 彼はそこが特に好きではなかった。
② 彼は朝から晩まで、両親の仕事の手伝いをした。
③ 彼はそこで、澄んだ青空の下、広大な緑の野原で遊んだ。
④ 彼はそこで職業画家として身を立てようとした。

選択肢の研究
① 直後の「後の(鮮やかな色彩と自然の風景に満ちた)絵に大きな影響を与えた」につながらないと判断できるため、不適。
② 空所に続く、絵画に関する記述に内容的につながらないため、不適。
③ 「澄んだ青空」や「緑の野原」での経験が、「後の彼の、鮮やかな色彩と自然の風景に満ちた絵」に影響を与えたと考えられるので、これが正解。
④ 第2段落最終文「彼の夢はフランスに移り住むこと」に不一致。

問3
Based on comment (3), which is the best expression to add?
17
① Nevertheless, ② Otherwise,
③ Strangely, ④ Therefore,
[訳] コメント(3)を踏まえると、付け加える表現として最も適切なものはどれか。17
① それにもかかわらず ② さもなければ
③ 不思議なことに ④ そのために

選択肢の研究
① ② ③ いずれも、空所の前後の内容をつなぐ表現としては不適切。
④ 空所の前後が、原因:「若い頃に両親を亡くした」、結果:「働かなければならなかった」の関係になっているため、これが正解。

問4
Based on comment (4), which is the best sentence to add?
18
① He had little money, and he begged grocers for pieces of food just to survive.
② His life was glamorous and luxurious, and many people envied his lifestyle.
③ His vivid paintings were sold for higher prices than those of French painters.
④ People in Paris immediately recognized his talent and gave him work.
[訳] コメント(4)を踏まえると、付け加える文として最も適切なものはどれか。18

① 彼はほとんどお金を持っていなかったため、ただ生きていくために食料品店で物乞いをした。
② 彼の生活は華やかでぜいたくであり、多くの人が彼の暮らしぶりをうらやましく思った。
③ 彼の鮮やかな絵画は、フランスの画家のものよりも高値で売れた。
④ パリの人々はすぐに彼の才能を認め、彼に仕事を与えた。

選択肢の研究
① 直前の「順風満帆でなかった」に、「お金がなくて困った」という情報を加えている。よって、これが正解。
② 直前の「順風満帆でなかった」という内容に合わず、直後の内容とも関係ないので、不適。
③ 直前の「順風満帆でなかった」に合わず、不適。
④ 直後の文より、彼の作品が認められだしたのはアカデミーに入ってからのことだとわかる。よって、不適。

[訳] 英語の授業で、あなたは自分が興味のあるトピックについて調べて作文を書いています。これはその直近の下書きです。先生からのコメントをもとに修正をしているところです。

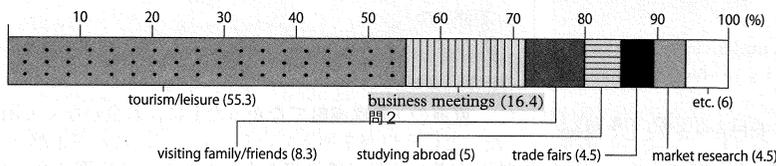
青山義雄の人生
① 青山義雄は、20世紀を通じてフランスで大成功を収めた画家だった。② 彼は伝説的な画家アンリ・マティスをはじめとする何人もの著名な芸術家から尊敬を集めた。(1) ③ 日本の芸術愛好家たちが彼の作品に出会う機会さえあったならば、彼の色彩に富んだ作品をフランスの支持者と同じくらい楽しんでもらえたことだろう。
② ③ 青山は1894年、神奈川県に生まれた。④ 彼がまだ幼い頃に、家族で日本最北の島である北海道に引越した。(2) ⑤ この経験は、後の彼の、鮮やかな色彩と自然の風景に満ちた絵に大きな影響を与えた。④ 青山は15歳で母を亡くし、その7年後に父を亡くした。(3) ⑥ 彼は、弟たちの世話をすためだけに一生懸命働かなくてはならなかった。⑦ しかし、彼の夢はフランスに移り住むことであり、彼は27歳でついに自分の荷物をまとめてパリに移った。
③ ① 最初、彼の夢は順風満帆とはいかなかった。(4) ⑧ しかし、ある有名なパリのアカデミーに受け入れられると、すぐに他の芸術家たちの中で頭角を現した。⑨ 彼はフランスで数多くの作品を画廊や芸術コンクールに応募し、大評判を呼んだのである。④ 彼がアンリ・マティスと出会ったのは南仏に移ってからであり、マティスは青山の才能を最初に認めた人であった。⑤ マティスは青山に「君は素晴らしい色彩感覚を持っている」と言った。⑥ 彼らの友情はマティスが1954年に亡くなるまで続いた。⑦ 青山は何回か日本に帰国したが、ほとんどの時間を南仏の町ニースで絵を描いて過ごした。⑧ 彼は102歳のときに神奈川県で亡くなった。⑨ 今日、世界中のたくさんの芸術愛好家たちが彼の見事な作品群を見だしている。
コメント
(1) ① ここに何かが欠けています。② 2つの文の間に、それらをつなぐ情報を加えなさい。
(2) ① 前後の内容に合う情報を加えなさい。
(3) ① ここに接続表現を挿入しなさい。
(4) ① さらに情報があれば、周囲の文に合うように、ここに加えなさい。
総評 ① フィンセント・ファン・ゴッホの絵画も、彼が亡くなるまで評価されませんでした。② 生涯にわたって常に高い評価を受けることは、とても難しいですね。

You are doing research on tourism to Japan. You found the following two articles.

Tourists from abroad

by Jane Clemens

Visitors to Japan by Purpose of Visit



- 1 Research Japan conducted a foreign visitor spending trend survey in 2010. This questionnaire surveyed visitors leaving Japan as to the purpose of their visit. Of the total, tourism/leisure visitors made up the overwhelming majority of more than half of all visitors (55.3%), with business next, followed by visiting family/friends.
- 2 However, examining the information by country, the proportions of the purpose of the visit were often quite different. The percentage of Asians in Japan for tourism was high. This was particularly true for Hong Kong visitors, 81.7% of whom came to sightsee. After Hong Kong came China at 58.8%, and then South Korea, at 57.6%.
- 3 Conversely, the percentage of tourism/leisure visitors among Americans and Europeans tended to be rather low, with the U.S. as low as 28.4%, Germany at 31.9%, and the U.K. at 33.8%. Also, among Asian travelers, India and Thailand proved the exception to the rule, as most were in the country on business, not tourism/leisure. Combining all work-related categories, "business meetings," "trade fairs," and "market research," the total was about a quarter of all visitors, but visits for business purposes ranked about 62% among Indians and about 52% for Thais.
- 4 The circumstances in various countries and regions tend to influence the people's main purposes - tourism or business - for coming to Japan. The reasons most people from Asian countries visit Japan for tourism are likely economic factors. The trend among other Asians to vacation in Japan most likely reflects recent economic development in countries like China, giving the average person more personal spending money.

訳

あなたは日本への観光に関する調査をしています。あなたは次の2つの記事を見つけました。

海外からの観光客 ジェーン・クレメンズの投稿

1 リサーチ・ジャパンは、2010年に訪日外国人の消費動向調査を実施した。このアンケートでは日本を出国する訪問者に対し、訪問の目的についての調査がされた。全体のうち、観光/レジャー（目的）の訪問者が全体の半分以上（55.3%）という圧倒的多数を構成しており、次にビジネス、さらに家族/友人の訪問が続いた。

2 しかしながら、国別に情報を調査すると、訪問目

的の割合は多くの場合かなり違っていた。観光で日本にいるアジア人の割合は高かった。これは特に香港の訪問者について当てはまることで、81.7%が観光のために来ていた。香港に次いで中国が58.8%、次に韓国が57.6%となっていた。

3 反対に、アメリカ人とヨーロッパ人の観光/レジャー目的の訪問者の割合は、米国が28.4%、ドイツが31.9%、英国が33.8%とやや低い傾向にあった。また、アジア人旅行者のうち、インドとタイは、大多数が観光/レジャーではなくビジネスで（日本の）国内におり、例外的であることがわかった。4 「商談」「見本市」「市場

問1: [19] に最も適当なのはどれか。

- 【グラフ】**
- 仕事関連に当てはまる項目を確認する。
 - 「商談」、「19」、「市場調査」の合計=約4分の1。
- 【文章】 13~14行目**
- 文章内容とグラフとを見比べて確認する。
 - 「すべての仕事関連のカテゴリーを合わせると、その合計は全訪問者の約4分の1」
- よって、[19]は③。

問2: グラフからわかること → [20]

- 【グラフ】 business meetings (16.4%)**
- これが言い換え
- 訪問者全体の20%未満の人が、商談のために日本に来る

ジェーンの記事からわかること → [21]

- 【文章】 9~10行目**
- 「観光/レジャーでの訪問者は、アメリカでは28.4%」
- これが言い換え
- 70%を超えるアメリカからの来訪者が、観光/レジャー以外の目的で日本に来る

問3: 日本への旅行者の訪問目的について何が言えるか。

- 【文章】 19~20行目**
- 「日本で休暇をとるという他のアジア人の傾向は、中国のような国々における近年の経済発展を最もよく反映しているようだ」
- これが言い換え
- アジア諸国の経済成長がアジア人観光客の増加の原因だ。

問1

Which of the following is most appropriate for [19]?

- ① studying abroad
- ② tourism/leisure
- ③ trade fairs
- ④ visiting family/friends

訳 [19] に最も適当なのは、次のどれか。

- ① 留学
- ② 観光/レジャー
- ③ 見本市
- ④ 家族/友人の訪問

[19]には「商談」「市場調査」以外の仕事関連のカテゴリーが入る。

選択肢の研究

- ①、②、④はいずれも、仕事関係ではない。
- ③「見本市」と訳しているが、trade「貿易」という語を含むので仕事関係と判断できる。3つの仕事関連項目の割合を加えて検算すると、「商談(16.4%)」+「市場調査(4.5%)」+「見本市(4.5%)」=25.4%となり、about a quarter「約4分の1」の条件も満たす。これが正解。

問2

The chart shows that [20], while Jane states that [21].

- ① China's business percentage is about the same as the overall average
- ② fewer and fewer Asian visitors are coming to Japan for tourism/leisure
- ③ less than 20% of overall visitors to Japan come for business meetings
- ④ more than 70% of American visitors come to Japan for purposes other than tourism/leisure
- ⑤ most visitors from Asia come for business rather than for tourism/leisure
- ⑥ tourists make up the majority of the visitors from India and Thailand

訳 グラフは [20] ということを示し、一方ジェーンは [21] と述べている。

- ① 中国のビジネス割合は、全体の平均とほぼ同じだ
- ② 観光/レジャー目的のアジアからの訪日客は、だんだん減少している
- ③ 訪問者全体の20%未満の人が、商談のために日本に来る
- ④ 70%を超えるアメリカからの来訪者が、観光/レジャー以外の目的で日本に来る
- ⑤ アジアからの来訪者の大半は、観光/レジャーよりむしろビジネスが目的で日本に来る
- ⑥ インドとタイからの来訪者の大多数は観光客である

調査」というすべての仕事関連のカテゴリーを合わせると、その合計は全訪日者の約4分の1だったが、ビジネス目的での訪問は、インドの間では約62%、タイの間では約52%を占めた。

- 4 様々な国や地域の状況は、観光やビジネスといった、人々が来日する主な目的に影響を与えやすい。
- 2 アジア各国からの大多数の人が観光で日本を訪れる理

選択肢の研究

- ① 中国からビジネスで訪日する人の割合はグラフにもジェーンの記事にもないので、不適。
- ② アジアから観光/レジャー目的で訪日する人の増減については、グラフからもジェーンの記事からも読み取れないので、不適。
- ③ グラフ中に「business meetings (16.4%)」とあるので、[20]に入る。
- ④ ジェーンの記事の第3段落第1文「アメリカ人の観光/レジャー目的の割合は28.4%」に一致するので、[21]に入る。
- ⑤ ジェーンの記事の第2段落第2~最終文に不一致。
- ⑥ ジェーンの記事の第3段落第2文に不一致。

問3

According to Jane, what can be said about the purpose of visit of travelers to Japan? [22]

- ① Asian visitor increases are due to many new tourist attractions in Japan.
 - ② Economic growth in Asian countries is what accounts for the increase in Asian tourists.
 - ③ Maintaining relations with Europe and North America is essential for business.
 - ④ The increase in the percentage of tourists from India and Thailand is important for Japan.
- 訳** ジェーンによると、日本への旅行者の訪問目的について何が言えるか。 [22]
- ① アジア人の訪問者の増加は、日本のたくさんの新しい観光名所のおかげである。
 - ② アジア諸国の経済成長がアジア人観光客の増加の原因だ。
 - ③ ヨーロッパや北米との関係維持は、ビジネスに不可欠だ。
 - ④ インドとタイからの観光客の割合の増加は、日本にとって大切だ。

選択肢の研究

- ① 「新しい観光名所」は本文に言及がない。
- ② 第4段落最終文の「中国のような国々における近年の経済発展を最もよく反映して…」という記述に一致。正解。
- ③ 第3段落冒頭に「北米やヨーロッパからの観光客の割合が少ない」との記述はあるが、「関係維持やビジネスへの重要性」に関する記述はない。
- ④ 第3段落第3文に「インドからは約62%、タイからは52%がビジネス目的で訪日している」との記述はあるが、観光客を増加させる必要性についての記述はない。

由は、経済的な要因にあるようだ。日本で休暇をとるという他のアジア人の傾向は、中国のような国々における近年の経済発展を最もよく反映しているようで、平均的な人の個人消費を増やす要因となっている。

Opinion on "Tourists from abroad"

by Yuta Kimura

1 It would be helpful to the Japanese economy if the number of tourists to Japan kept increasing. This is obvious from the huge damage suffered by hotels and other tourism-related businesses after tourist numbers dropped due to the coronavirus pandemic. I think it is a good thing that tourists from other Asian countries want to sightsee in Japan. The economies of these countries are expected to grow in the near future, so the people will have more money to spend on tourism.

2 However, the challenge for Japan will be to attract tourists from places that are farther away, such as North America and Europe. Of course, this will be difficult. However, France attracts an overwhelming amount of tourists compared to Japan. Japan also has a unique culture developed over its long history. If Japan makes more effort to show this culture to the world, then more people abroad will become interested in Japan.

問4

- What is the main topic of Yuta's report?
Reasons that Japanese tourists are interested in other countries
The causes behind the increase in tourists to France
The economic impact of tourism from abroad
The lengths of stay for people coming to Japan from other countries

選択肢の研究

- 「日本人観光客」に関する記述はないので、不適。
第2段落第3文にフランスに関する記述はあるが、観光客が増加している要因に関する記述はない。
第1段落第1、2文、同段落最終文の内容から、これが主題だと判断できる。
「日本に来る観光客の滞在時間」に関する記述はない。

語句・表現 length「長さ、期間」

問5

- The author who argues that Japan should promote itself more is Jane.
Both Jane and Yuta
Jane
Neither Jane nor Yuta
Yuta

選択肢の研究

ジェーンの記事の大半は、リサーチ・ジャパンによる調査の結果を報告するものであり、彼女自身が何かを主張している記述はない。よって、ジェーンが含まれている①と②は除外する。
ユウタの記事は、タイトル「『海外からの観光客』についての意見」とある通り、彼自身の意見、主張が書かれたものである。
ユウタの記事の第2段落第1文「日本の課題は遠隔地からの観光客を呼び寄せること」、最終文「独自の文化を示す努力をすれば、日本に興味を持つ海外の人は増えるだろう」から、「自国をより宣伝すべき」に一致すると判断できる。よって、③は不適で、④が正解。

語句・表現

author「著者」
argue「主張する」
promote「宣伝する」
neither A nor B「AでもBでもない」

問4: ユウタのレポートの主題は何か。

文章 1~3、5~6行目
「観光客の増加が日本経済に有益だということは、新型コロナウイルスで観光業が被った甚大な被害からも明らか」
「経済の発展が見込まれるアジア諸国が観光に費やすお金は増えるだろう」

これが言い換え
海外からの観光の経済的効果

問5: 日本は自国をより宣伝すべきだと主張しているのは誰か。

文章 タイトル、7~8行目、10~12行目
「海外～」についての意見
「日本の課題は、遠隔地からの観光客を呼び寄せること」
「独自の文化を示す努力をすれば、日本に興味を持つ人が増える」
ユウタの主張に一致

訳

「海外からの観光客」についての意見 ユウタ・キムラの投稿

もしも日本を訪れる観光客が増え続ければ、日本経済にとって有益なことでしょう。これは、新型コロナウイルス感染症の大流行によって観光客の数が減少した後、ホテルなどの観光事業関連の企業が被った甚大な被害から明らかです。他のアジア諸国からの観光客が日本で観光することを望んでいるのはよいことだと思います。こうした国々の経済は近い将来発展するこ

とが予想されているので、人々が観光に費やすお金は増えるでしょう。

しかし、日本にとっての課題は、北米やヨーロッパといった、距離がある場所からの観光客を呼び寄せることでしょう。もちろん、それは簡単なことではないでしょう。しかし、日本と比較しても、フランスは圧倒的な数の観光客を引きつけています。日本にも、その長い歴史の中で発展した独自の文化があります。日本がこの文化を世界に示すことにさらに努めれば、日本に興味を持つ海外の人の数は増えるでしょう。

語句・表現

- tourism「観光」
leisure「レジャー」
business meeting「商談」
studying abroad「留学」
trade fair「見本市」
market research「市場調査」
conduct「行方、実施する」
trend「傾向、動向」
survey「調査、世論調査」
questionnaire「アンケート、質問表」
as to「～に関して」
make up「～を構成する、占める」
overwhelming「圧倒的な、絶大な」
majority「大多数、大部分」

- proportion「比率、割合」
particularly「特に」
conversely「逆に、反対に」
prove (to be)「～であることが判明する」
combine「組み合わせる」
work-related「仕事関連の」
a quarter of「～の4分の1」
rank「地位を占める、位置づける」
circumstance「状況」
region「地域」
most likely「たいがい、最もありそうな」
reflect「反映する」

- tourist「観光客」
obvious「明白な」
suffer「(被害などを) 被る」
due to「～が原因で」
coronavirus pandemic「新型コロナウイルス感染症の大流行」
sightsee「観光する」
challenge「課題」
attract「引きつける、呼び寄せる」
compared to「～と比べて」
unique「唯一の、独特の」
make an effort to do「～しようと努める」

Your group is preparing a poster to take part in an English oral presentation contest. Read the following newspaper article in preparation for your talk.

- (1) ① Women in many countries around the world who have status and freedoms in their country can thank educator Arabella Mansfield for her contributions. ② Originally named Belle Aurelia Babb, she was born on May 23, 1846 in Iowa in the United States. ③ She lived with her parents and older brother, Washington, until her father left the family home for California when she was four. ④ He had left money for his children's education, but sadly died in a mining accident in 1852 before seeing what they would become. ⑤ By 1866, Arabella had begun using her chosen name while at university and graduated with excellent grades.
- (2) ① She started her career in education teaching political science, English, and history for a year and then married a professor of natural history, John Mansfield, in 1868. ② He, along with Arabella's brother, already working in law, supported her when she decided to study for the bar exam for lawyers, even though Iowa only accepted white men over 21. ③ At the age of 23, Mansfield passed the exam with a very high score and challenged the state to allow women to practice law.

語句・表現

- 1.1 status 「地位」
 1.1 freedom 「自由」
 1.2 educator 「教育者」
 1.2 contribution 「貢献」
 1.2 originally 「本来は」
 1.3 Iowa 「アイオワ州」
 1.6 mining 「炭鉱 (業)」
 1.8 grade 「成績、評価」
 1.9 career in ~ 「～の仕事」
 1.9 political science 「政治学」
 問1 ① alter 「変える」
 問1 ④ head 「(組織などの) 長」

A woman who helped advance women's rights 女性の権利の向上に寄与した女性
◆ Arabella Mansfield's childhood and early adulthood アラベラ・マンズフィールドの幼少期と青年期
 25 ② ⇨ 26 ① ⇨ 27 ③ ⇨ 28 ④

英文全体から情報を検索する問題

英文はマンズフィールドの生涯が時系列で記述されているので、各選択肢の内容を英文中で検索し、並べればよい。

(第1段落第4文) 「1852年に(父親は)炭鉱の事故で亡くなった」⇒②⇒25

(第1段落最終文) 「1866年までに、自ら選んだ名前を使い始めた (=身元の一部を変更)」⇒①⇒26

(第2段落第1文前半) 「政治学、英語、歴史を教える教育の仕事 시작했다」⇒③⇒27

(第2段落第1文後半) 「教育の仕事をして1年してから、1868年に博物学の教授と結婚した」⇒④⇒28

▶ 正解は、②→①→③→④。

問1

第1、2段落

問1 Put the following events into the order in which they happened.
 25 ~ 28

- ① Mansfield altered part of her identity
 ② Mansfield lost her father
 ③ Mansfield made her initial entry into a professional life
 ④ Mansfield married a professor

【訳】 以下の出来事を起こった順に並べなさい。 25 ~ 28

- ① マンズフィールドは彼女の身元の一部を変えた
 ② マンズフィールドは父親を亡くした
 ③ マンズフィールドは最初の職業生活に入った
 ④ マンズフィールドは教授と結婚した

解説 / 選択肢の研究

- ① 第1段落最終文を参照。
 ② 第1段落第4文を参照。
 ③ 第2段落第1文前半を参照。第1段落最終文に大学を卒業したことが記され、第2段落で彼女の職業生活が始まっている。
 ④ 第2段落第1後半文を参照。

【訳】 あなたのグループは、英語の口頭プレゼンテーションコンテストに参加するために、ポスターの準備をしています。話す準備のために、以下の新聞記事を読みなさい。

① 自分たちの国において地位や自由を手にかけている世界中の多くの国の女性たちは、その貢献ゆえに教育者のアラベラ・マンズフィールドに感謝してもいいだろう。
 ② 本来はベル・オーレリア・バブという名前であった彼女は、1846年5月23日にアメリカのアイオワ州で生まれた。③彼女は両親と兄のワシントンとともに暮らしていたが、それは彼女が4歳のときに父親が家族を残してカリフォルニアへ向かうまでのことであった。④彼は子供たちの教育のためにお金を残していたが、残念なことに彼らがどうなるかを見届ける前、1852年に炭鉱の事故

によって亡くなった。⑤1866年までに、アラベラは大学在学中に自ら選んだ名前を使い始め、また優秀な成績で卒業した。

⑥彼女は政治学、英語(国語)、歴史を教える教育の仕事をして1年してから、1868年に博物学の教授であるジョン・マンズフィールドと結婚した。⑦彼は、アラベラの兄と一緒にすでに法律の仕事をしていたので、彼女が弁護士になるための司法試験に向けて勉強することを決めたとき、彼女を支えた。しかしながら、アイオワ州では21歳より上の白人の男性しか受け入れていなかった。⑧23歳のとき、マンズフィールドはとても高い点数で試験に合格し、女性が弁護士になることを認めるよう、州に要求した。

(2) She started her career in education teaching political science, English, and history for a year and then married a professor of natural history, John Mansfield, in 1868. He, along with Arabella's brother, already working in law, supported her when she decided to study for the bar exam for lawyers, even though Iowa only accepted white men over 21. At the age of 23, Mansfield passed the exam with a very high score and challenged the state to allow women to practice law. The judge, Francis Springer, was a supporter of professional women and decided that the word 'men' in the law meant all humans, not just males. Mansfield was officially admitted to the Iowa bar in June 1869 as the first female lawyer. Within twelve months, Iowa law was changed to permit women and minorities to become lawyers. Although she had gained her license, Mansfield felt that her true calling was teaching, and she chose not to work in law. She continued teaching and studying at the same university as her husband, gaining a Master's Degree while there and becoming professor of English literature.

(3) In 1870, both Mansfield and her husband began to take an interest in various social movements. Arabella gave public lectures on various women's rights such as equal pay. In August 1870, she was elected president of the Henry County Woman Suffrage Association, a group which campaigned to give women the right to vote in elections. Mansfield experienced life overseas when she traveled all around Europe between 1872 and 1873 with her husband, who was doing research work.

(4) By 1879, John Mansfield had taken a job as a professor at a university in Indiana, and Arabella left her own teaching job to move with him. Five years later, John moved to California to be treated for a mental illness, and his wife lectured all over the United States to pay for his medical costs. By the late 1890s, Arabella had been named Dean of Music and Art at DePauw University and had joined the National League of Women Lawyers.

語句・表現

- 1.9 career in ~「～の仕事」
- 1.9 political science 「政治学」
- 1.10 professor 「教授」
- 1.10 natural history 「自然史、博物学」
- 1.11 along with ~ 「～と一緒に」
- 1.12 bar exam 「司法試験」
- 1.12 lawyer 「弁護士、法律家」
- 1.13 score 「得点、成績」
- 1.14 challenge O to do 「Oに～することを要求する」
- 1.14 practice law 「弁護士を開業する」
- 1.14 judge 「裁判官、判事」
- 1.15 supporter 「支持者」
- 1.15 professional 「職業上の、専門職の」
- 1.16 officially 「正式に」
- 1.16 admit 「(入場・入会を) 認める」
- 1.16 the bar 「弁護士(界)」 (be admitted to the bar 「弁護士になる」)
- 1.17 female 「女性の」
- 1.18 permit 「許可する、認める」
- 1.18 minority 「少数派、マイノリティー」
- 1.18 gain 「取得する」
- 1.19 license 「免許、許可」
- 1.19 calling 「天職」
- 1.21 Master's Degree 「修士号」
- 1.21 literature 「文学」

- ◆ Mansfield and the Iowa bar マンスフィールドとアイオワの弁護士界
 - ▶ Mansfield took her law exam in 1869. マンスフィールドは1869年に司法試験を受けた。
 - ▶ This event was significant for the following reasons: 29 ④
この出来事は次の理由によって、とても意義深いことだった:
- ◆ Advancements for women: Mansfield's contributions 女性の前進: マンスフィールドの貢献
 - ▶ Mansfield was involved in various activities related to improving women's rights: マンスフィールドは女性の権利向上に関わる様々な活動に関与した:
 - 30 ①
 - 31 ②

訳

2 ① 彼女は政治学、英語(国語)、歴史を教える教育の仕事始めて1年してから、1868年に博物学の教授であるジョン・マンスフィールドと結婚した。② 彼は、アラベラの兄と一緒にすでに法律の仕事をしていたので、彼女が弁護士になるための司法試験に向けて勉強することを決めるとき、彼女を支えた。しかしながら、アイオワ州では21歳より上の白人の男性しか受け入れていなかった。③ 23歳のとき、マンスフィールドはとても高い点数で試験に合格し、女性が弁護士になることを認める

よう、州に要求した。④ 裁判官のフランシス・スプリングーは職業を持つ女性の支持者であったため、法律にある「men」の言葉はすべての人間を意味し、男性だけではないという判決を下した。⑤ マンスフィールドは最初の女性弁護士として、1869年6月、正式にアイオワ州の弁護士になった。⑥ 12か月のうちに、アイオワ州の法律は女性とマイノリティー(少数派)の人々が弁護士になることを認めるように変わった。⑦ マンスフィールドは資格を得たが、自分の本当の天職は教職であると感じ、法律の仕事をしたくないことに決めた。⑧ 彼女は夫と同じ大

段落内の情報を検索する問題

ポスター中の 29 に入れるのに適切な選択肢を選ぶ。

▶ 29 の直前の文「この出来事は次の理由によって、とても意義深いことだった」の This event 「この出来事」とは、上の文を指しているため、「マンスフィールドが司法試験を受けたことが意義深い理由」として正しいものを選ぶ。

(第2段落第6文)

「アイオワ州の法律は、女性とマイノリティーの人々が弁護士になることを認めるように変わった」

→ ④が一致

よって、④が正解。

キーワードの主旨を確認する問題

ポスター中の 30 31 に入れるのに適切な複数の選択肢を①~④から選ぶ。

▶ 30 31 の直前の文は「マンスフィールドは女性の権利向上に関わる様々な活動に関与した」という意味なので、「彼女が女性の権利向上のために行ったことのある具体的な例」として正しいものを選ぶ。

(第3段落第3文)

「彼女は女性に選挙で投票する権利を与えることを求めて活動している団体である、ヘンリー郡女性参政権協会の会長に選ばれた」

→ ③が一致

(第4段落最終文)

「全米女性弁護士協会に加盟した」

→ ①が一致

よって、①と③が正解。

問2

第2段落

問2 Choose the best option for 29.

- ① At that time, it was difficult for a teacher to become a lawyer.
- ② It encouraged the brother of Mansfield to become a lawyer.
- ③ Mansfield passed the exam without making a single mistake.
- ④ Mansfield's actions led to a major change in legislation in Iowa.

訳 29 に最も適切な選択肢を選びなさい。

- ① 当時、教師が弁護士になることは難しかった。
- ② それは、マンスフィールドの兄が弁護士になることを促した。
- ③ マンスフィールドは1つのミスもすることなく、試験に合格した。
- ④ マンスフィールドの行動は、アイオワの法律に大きな変化をもたらした。

解説/ 選択肢の研究

- ① 教師が弁護士になることが難しいかどうかに関する記述はないので、不適。
- ② It は直前の This event を指し、それは上の行の内容を指している。第2段落第2文に、アラベラの兄がすでに法律の世界で働いていたことが述べられており、「彼女の司法試験受験が兄が弁護士になることを促した」という内容の記述はない。不適。
- ③ 第2段落第3文に「とても高い点数で合格した」とあるが、「1つのミスもすることなく」との記述はないので、不適。
- ④ 第2段落第6文に一致。

語句・表現 encourage O to do 「Oが～するように促す」 legislation 「法律、立法」

問3

第3~4段落

問3 Choose the two best options for 30 and 31. (The order does not matter.)

- ① She became a member of a nationwide association for female lawyers.
- ② She challenged Wesleyan University to allow non-white female professors.
- ③ She headed an organization aimed at promoting women's voting rights.
- ④ She worked as a politician to encourage women to enter politics.

訳 30 と 31 に最も適切な選択肢を2つ選びなさい。(順不同)

- ① 彼女は女性弁護士のための全国規模の協会の一員になった。
- ② 彼女はウェズリアン大学に、非白人女性の教授を許可することを要求した。
- ③ 彼女は女性の投票権獲得を目的とする組織を率いた。
- ④ 女性たちに政治へ参入するよう勧めるために、政治家として働いた。

解説/ 選択肢の研究

- ① 第4段落最終文に一致。
- ② 「非白人女性の教授」に関する記述はないので、不適。
- ③ 第3段落第3文に一致。
- ④ 「政治家として働いた」という記述はないので、不適。

語句・表現 head 「率いる」 organization 「組織」 aim at ~ 「～を目指す」 politician 「政治家」 politics 「政治」

学で教えながら勉強を続け、在籍中に修士号を取得し、英文学の教授になった。

3 ① 1870年、マンスフィールドも夫も、様々な社会運動に興味を持ち始めた。② アラベラは、同一賃金のような様々な女性の権利についての公開講座を開いた。③ 1870年8月、彼女は女性に選挙で投票する権利を与えることを求めて活動している団体である、ヘンリー郡女性参政権協会の会長に選ばれた。④ マンスフィールドは1872年から1873年の間、調査研究をしていた夫とともにヨーロッパ中を旅し、海外生活を体験した。

4 ① 1879年までに、ジョン・マンスフィールドはインディアナ州で大学教授の職についており、アラベラは彼と引越すために教職を辞めた。② 5年後、ジョンは精神疾患を治療するためにカリフォルニアに移り住み、妻は彼の医療費を支払うために、アメリカ全国を講演して回った。③ 1890年代後半までには、アラベラはデポー大学で音楽芸術学部の学部長に任命され、また全米女性弁護士協会に加盟していた。

(1) ① Women in many countries around the world who have status and freedoms in their country can thank educator Arabella Mansfield for her contributions. ② Originally named Belle Aurelia Babb, she was born on May 23, 1846 in Iowa in the United States. ③ She lived with her parents and older brother, Washington, until her father left the family home for California when she was four. ④ He had left money for his children's education, but sadly died in a mining accident in 1852 before seeing what they would become. ⑤ By 1866, Arabella had begun using her chosen name while at university and graduated with excellent grades.

(2) ① She started her career in education teaching political science, English, and history for a year and then married a professor of natural history, John Mansfield, in 1868. ② He, along with Arabella's brother, already working in law, supported her when she decided to study for the bar exam for lawyers, even though Iowa only accepted white men over 21. ③ At the age of 23, Mansfield passed the exam with a very high score and challenged the state to allow women to practice law. ④ The judge, Francis Springer, was a supporter of professional women and decided that the word 'men' in the law meant all humans, not just males. ⑤ Mansfield was officially admitted to the Iowa bar in June 1869 as the first female lawyer. ⑥ Within twelve months, Iowa law was changed to permit women and minorities to become lawyers. ⑦ Although she had gained her license, Mansfield felt that her true calling was teaching, and she chose not to work in law. ⑧ She continued teaching and studying at the same university as her husband, gaining a Master's Degree while there and becoming professor of English literature.

(3) ① In 1870, both Mansfield and her husband began to take an interest in various social movements. ② Arabella gave public lectures on various women's rights such as equal pay. ③ In August 1870, she was elected president of the Henry County Woman Suffrage Association, a group which campaigned to give women the right to vote in elections. ④ Mansfield experienced life overseas when she traveled all around Europe between 1872 and 1873 with her husband, who was doing research work.

(4) ① By 1879, John Mansfield had taken a job as a professor at a university in Indiana, and Arabella left her own teaching job to move with him. ② Five years later, John moved to California to be treated for a mental illness, and his wife lectured all over the United States to pay for his medical costs. ③ By the late 1890s, Arabella had been named Dean of Music and Art at DePauw University and had joined the National League of Women Lawyers.

(5) ① Even in old age, Mansfield continued her education work and travels. ② She fell ill after a trip to Japan in 1909, and increasing health problems forced her to retire in 1910. ③ She died on August 11, 1911. ④ A statue of her can be found on the campus of Wesleyan University in Iowa, and she was admitted into the Iowa Women's Hall of Fame in 1980. ⑤ One of the most important modern day awards for women working in law is named after Arabella Mansfield. ⑥ She will long be remembered for the part she played in helping to bring greater equality to women.

- 語句・表現
- L.23 movement「運動、活動」
 - L.23 public lecture「公開講座」
 - L.23 right「権利」
 - L.24 equal pay「同一賃金」
 - L.24 elect「選ぶ」
 - L.24 president「会長」
 - L.24 Henry County Woman Suffrage Association「ヘンリー郡女性参政権協会」
 - L.25 campaign「運動を起こす」
 - L.25 vote「投票する」
 - L.26 election「選挙」
 - L.28 Indiana「インディアナ州」
 - L.30 treat「治療する」
 - L.30 mental illness「精神疾患」
 - L.30 lecture「講演をする」
 - L.31 medical cost「医療費」
 - L.32 name A B「AをBに指名[任命]する」
 - L.32 dean「学部長」
 - L.32 National League of Women Lawyers「全米女性弁護士協会」
 - L.34 old age「老齢(期)」
 - L.34 fall ill「病気になる」
 - L.35 force O to do「Oに～することを強いる」
 - L.35 retire「退職[引退]する」
 - L.36 statue「像」
 - L.36 campus「(大学の)構内」
 - L.37 Iowa Women's Hall of Fame「アイオワ女性栄誉殿堂」
 - L.38 award「賞」
 - L.39 play a part in「～で役割を果たす」
 - L.40 equality「平等」
- 問4 ② launch「始める、立ち上げる」
- 問4 ② recognize「価値を認める、表彰する」
- 問4 ④ honor「栄誉を授ける」
- 問4 ④ achievement「功績」

◆ Arabella Mansfield's later years アラベラ・マンスフィールドの晩年

32 ④

問4

第5段落

段落内の情報を検索する問題

ポスター中の [32] に入れるのに適切な選択肢を選ぶ。

▶ [32] には、「マンスフィールドに関して、後に起こった出来事」として正しいものを選ぶ。

(第5段落第4、5文)

「アイオワ女性栄誉殿堂入りを認められた」
「法曹界の重要な賞の1つは、マンスフィールドの名前にちなんでつけられている」

よって、彼女に関する後の出来事としては、④が正解。

問4 Choose the best option for [32].

- ① Mansfield continued working until two or three months before her death.
 - ② Mansfield launched an annual award to recognize professional working women.
 - ③ Mansfield learned that she was ill while she was in Japan.
 - ④ Mansfield was honored for her achievements.
- 【訳】 [32] に最も適切な選択肢を選びなさい。
- ① マンスフィールドは亡くなる2、3か月前まで働き続けた。
 - ② 彼女は専門職の働く女性を表彰するための、毎年与えられる賞を創設した。
 - ③ マンスフィールドは日本にいる間に病気だと知った。
 - ④ マンスフィールドはその功績に対して栄誉を与えられた。

解説 / 選択肢の研究

- ① 第5段落第2、3文より「1910年に引退、1911年8月に亡くなった」ので、「2、3か月前まで働いた」は不適。
- ② 第5段落第5文に「彼女の名前にちなんで名づけられた賞」についての記述はあるが、「彼女自身が賞を創設した」という記述はないので、不適。
- ③ 第5段落第2文「日本に旅行に行った後に病気になった」より、不適。
- ④ 第5段落第4、5文を参照。

【訳】 ① 自分たちの国において地位や自由を手している世界中の多くの国の女性たちは、その貢献ゆえに教育者のアラベラ・マンスフィールドに感謝してもいいだろう。② 本来はベル・オーレリア・バブという名前であった彼女は、1846年5月23日にアメリカのアイオワ州で生まれた。③ 彼女は両親と兄のワシントンとともに暮らしていたが、それは彼女が4歳のときに父親が家族を残してカリフォルニアへ向かうまでのことであった。④ 彼女は子供たちの教育のためにお金を残していたが、残念なことに彼らがどうなるかを見届ける前、1852年に炭鉱の事故によって亡くなった。⑤ 1866年までに、アラベラは大学在学中に自ら選んだ名前を使い始め、また優秀な成績で卒業した。

法律の仕事をしないうことに決めた。⑥ 彼女は夫と同じ大学で教えながら勉強を続け、在籍中に修士号を取得し、英文学の教授になった。

② ① 彼女は政治学、英語(国語)、歴史を教える教育の仕事をして1年してから、1868年に博物学の教授であるジョン・マンスフィールドと結婚した。② 彼は、アラベラの兄と一緒にすでに法律の仕事をしていたので、彼女が弁護士になるための司法試験に向けて勉強することを決めるとき、彼女を支えた。しかしながら、アイオワ州では21歳より上の白人の男性しか受け入れていなかった。③ 23歳のとき、マンスフィールドはとても高い点数で試験に合格し、女性が弁護士になることを認めるよう、州に要求した。④ 裁判官のフランシス・スプリングーは職業を持つ女性の支持者であったため、法律にある「men」の言葉はすべての人間を意味し、男性だけではないという判決を下した。⑤ マンスフィールドは最初の女性弁護士として、1869年6月、正式にアイオワ州の弁護士になった。⑥ 12か月のうちに、アイオワ州の法律は女性とマイノリティー(少数派)の人々が弁護士になることを認めるように変わった。⑦ マンスフィールドは資格を得たが、自分の本当の天職は教職であると感じ、

③ ① 1870年、マンスフィールドも夫も、様々な社会運動に興味を持ち始めた。② アラベラは、同一賃金のような様々な女性の権利についての公開講座を開いた。③ 1870年8月、彼女は女性に選挙で投票する権利を与えることを求めて活動している団体である、ヘンリー郡女性参政権協会の会長に選ばれた。④ マンスフィールドは1872年から1873年の間、調査研究をしていた夫とともにヨーロッパ中を旅し、海外生活を体験した。

④ ① 1879年までに、ジョン・マンスフィールドはインディアナ州で大学教授の職についており、アラベラは彼と引っ越すために教職を辞めた。② 5年後、ジョンは精神疾患を治療するためにカリフォルニアに移り住み、妻は彼の医療費を支払うために、アメリカ全国を講演して回った。③ 1890年代後半までには、アラベラはデポー大学で音楽芸術学部の学部長に任命され、また全米女性弁護士協会に加盟していた。

⑤ ① 老齢になっても、マンスフィールドは教育の仕事と旅を続けた。② 彼女は1909年に日本へ旅行に行った後に病気になり、健康上の問題が増えたことで、1910年に引退せざるをえなくなった。③ 彼女は1911年8月11日に亡くなった。④ 彼女の像はアイオワ州のウェズリアン大学の構内で見ることができ、1980年に彼女はアイオワ女性栄誉殿堂入りを認められた。⑤ 法律の世界で働く女性にとって今日最も重要な賞の1つは、アラベラ・マンスフィールドにちなんで名前がつけられている。⑥ 女性にさらなる平等をもたらすことへの貢献において、彼女が果たしたその功績のために、彼女は長い間記憶されることだろう。

You will give your opinion on changes in the ecosystem caused by invasive species. You found the following article. You are reading it and making a poster to present your findings.

Are Invasive Species Really That Bad?

(1) On the island of Amami Oshima, efforts are under way to get rid of the mongoose, an animal that damages the crops and threatens the existence of rare animals. According to the Ministry of the Environment, there are an estimated 10,000 mongooses on this island, and this number is expected to increase by 20 to 30 percent every year. The mongoose did not originally inhabit Amami Oshima. Rather, it was brought there by humans around 1980. This is called an "invasive species."

(2) "Invasive species" means a species that enters a new environment where there are no natural forces to keep their population under control. In the new environment, the invasive species reproduces very quickly because there aren't enough predators to keep the invasive animal's population low. And the more an invasive species breeds, the more its children breed too, until the problem is truly out of hand.

(3) Invasive species are a fairly new problem worldwide; for the majority of the planet's history, human beings either did not exist or did not move very far away from where they were born. It is only since we began sailing ships and flying planes many thousands of miles that we have found ourselves able to transport other animals from one environment to another. Sometimes we do so by mistake: rats or insects enter ships in Europe and then disembark in Asia or North America. But usually the worst invasive species are a result of human foolishness; people think that a species of animal will prove useful in a new environment, only to discover that there is too much of a good thing.

- 1.0 invasive 「侵略的な」
1.1 under way 「続けられている、進行中である」
1.1 get rid of ~ 「~を除去する、駆除する」
1.2 threaten 「おびやかす」
1.2 existence 「存在、生存」
1.3 estimated 「推定される、およそ」
1.4 be expected to do 「~することが見込まれている」
1.5 originally 「もともと」
1.5 inhabit 「生息する」
1.6 rather 「(文頭で) それどころか、むしろ」
1.7 species 「(生物の) 種」(単複同形。単数形は a species)
1.9 natural force 「自然の力」
1.9 keep ~ under control 「~を制御する」
1.9 population 「個体数」
1.10 reproduce 「繁殖する」
1.11 predator 「捕食動物、天敵」
1.12 breed 「子を産む」
1.13 out of hand 「手に負えない」
1.14 majority 「ほとんど、大部分」
1.20 foolishness 「愚かさ」
1.22 too much of a good thing 「あまりに(よいこと)の度が過ぎてしまう」

Are Invasive Species Really That Bad? 侵入生物種はそんなに悪者なのか
Mongoose in Amami Oshima are a problem because 33.
What is "invasive species"? 「侵入生物種」とは何か
Invasive species are a new worldwide problem: 侵入生物種は新しい世界的な問題
The plan for cane toads オオヒキガエルの計画
In 1935, people imported cane toads from America to Australia

あなたのグループは、侵入生物種による生態系の変化について意見を発表することになりました。あなたは以下の記事を見つけました。あなたはそれを読み、わかったことを発表するためにポスターを制作しています。
侵入生物種はそんなに悪者なのか?
奄美大島では、マングースを駆除する努力が続いている。マングースは穀物に被害を与えたり、希少な動物の生存をおびやかす。環境省によると、推定1万頭のマン

複数の段落の因果関係を認める問題

複数の段落で述べられている因果関係から、ポスター中の 33 に入れるのに適切な選択肢 (1~4) を選ぶ。

第1段落と第2段落の要旨は次の通り。

第1段落 奄美大島のマングース
第1文 「奄美大島の生態系を破壊」...1)
第2文 「数は増加していく」
第3、4文 「人間が持ち込んだもの」
最終文 「これを「侵入生物種」という」

第2段落 「侵入生物種の繁殖力」

第1文 「個体数を抑えられない環境にいる」

第2文 「数の増加は天敵がいらないから」

最終文 「手に負えなくなってしまう」

1)、2) により、「マングースが生態系破壊の問題を引き起こすのは、天敵がいなかった」に一致する、③が正解。

段落の内容を要約する問題

ポスター中の 34 に入れるのに適切な選択肢 (1~4) を選ぶ。

空所は、「侵入生物種は新しい世界的な問題」とは何かを説明しているの、第3段落が該当。

(第3文) Sometimes ... by mistake 「うっかりと船などで輸送してしまうこともある」

(最終文) But usually ... a result of human foolishness 「しかし、最悪の侵入生物種は人間の愚かさの結果である」

最終文がこの段落の主旨。「人間の愚かさ=新しい環境で役立つだろうと考えるが、度が過ぎてしまう」より、「人間がある意図で持ち込んだ生物が、違った影響を環境に及ぼす」ということなので、④が正解。

some (この文では Sometimes) がつよく一部の例が述べられた後に But usually と続いている場合、後者の方に重点がある。

グースが島におり、その数は毎年20~30%の割合で増加が見込まれている。マングースは、本来奄美大島には生息していなかった。それどころか、1980年頃に人間によって持ち込まれた。これを「侵入生物種」という。「侵入生物種」とは、自然の力がその個体数を制御できないような新しい環境に入り込んだ種のことをいう。その新しい環境では、侵入生物種はとて速く繁殖するが、それは侵入生物種の個体数を低く抑える天敵がいなかった。そして、侵入生物種が子を産めば、その子がさらに子を産み、その問題はまさに手に負えなくなる。「侵入生物種」はかなり新しい、世界的な問題であるが、それは地球の歴史のほとんどにおいて、ヒトは存在

問1 Choose the best option for 33 on your poster.

- 1 the local people haven't realized the dangerous nature of their presence
2 the species of mongoose on the island is not as fierce
3 there are no other animals that will control their population
4 they also were found on other islands in the same region

訳 ポスター中の 33 に最も適切な選択肢を選びなさい。

- 1 土地の人々が、マングースの存在の危険な性質に気がついていない
2 その島のマングースはそれほどどう猛ではない
3 マングースの個体数を抑制する他の動物がいらない
4 マングースが同じ地域の他の島々でも見つかった

解説/ 選択肢の研究

- 1 第1段落第1文に「駆除する努力が続けられている」とあるので、不適。
2 マングースの性質については述べられていないので、不適。
3 第1、2段落の内容に一致するので、正解。
4 「マングースが他の島々にいるかどうか」については述べられていないので、不適。

訳 realize 「気がつく、悟る」 nature 「性質」 presence 「存在、いること」 fierce 「どう猛な」

問2 Choose the best option for 34 on your poster.

- 1 are manageable in many different countries
2 are usually less dangerous when humans transport them
3 harm human beings more than other animals
4 show that human actions can have unintended results

訳 ポスター中の 34 に最も適切な選択肢を選びなさい。

- 1 多くの他の国々では制御可能である
2 人間がそれを運ぶのなら、たいていはそれほど危険でない
3 他の動物以上に人間に多くの悪影響を与える
4 人間の行為が意図しない結果をもたらしていることを示している

解説/ 選択肢の研究

- 1 第3段落では侵入生物種の各国での状況については触れられていないので、不適。
2 第3段落最終文に「最悪の侵入生物種は人間の愚かさの結果」とあるので、不適。
3 第3段落での人間と侵入生物種に関する記述は「人間が侵入生物種を持ち込む」という内容で、「人間に危害を加える」という内容は述べられていないので、不適。
4 第3段落の主旨である最終文の内容と一致するので、正解。

訳 transport 「輸送する、運ぶ」 harm 「危害を加える、悪影響を与える」 unintended 「意図しない」

していなかったか、生まれたところからあまり遠くへ移動しなかったからだ。我々が他の動物たちをある環境から別の環境へと移動させられると知ったのは、何千マイルも船で航行したり、飛行機を飛ばしたり始めてからのことにすぎない。うっかりとこれをしてしまうこともある。ネズミや昆虫がヨーロッパで船に紛れ込み、アジアや北米で船を降りるといった具合にだ。しかし、最悪の侵入生物種は人間の愚かさの結果である。ある種の動物が新しい環境において役に立つだろうと考えるのだが、結局はあまりに度が過ぎていくことになるのだ。

(4) The cane toad is a large animal — it can grow up to 15 centimeters — that is originally from Central and South America. In its original home region, cane toads have many natural predators who help to keep the cane toad population low enough that the toads do not become a problem. But in 1935, someone in Australia had what seemed like a very clever idea: import cane toads from the Americas to Australia so that the toads eat local Australian insects, which damage valuable Australian crops like sugar cane. It seemed like a good plan at first, but like many good plans involving complicated natural forces, this plan quickly went off course, as cane toads tend to breed very quickly.

(5) Another example of an invasive species is the gypsy moth. In the 1860s, an American businessman noticed that Chinese silk, which was made using insects called silkworms, was a very expensive and profitable product. He wondered if there was some way to start a silk industry in America, but unfortunately silkworms can only eat one kind of tree leaf, and so cannot live in many environments where their favorite tree doesn't grow. The businessman found a similar kind of insect, though, called the gypsy moth. Gypsy moths could eat many different kinds of tree leaves, so the businessman brought a few hundred of them over from Asia to the United States, where they had no natural predators, and where their population increased rapidly. Unfortunately, gypsy moths could not be used to make silk, and were thus worthless economically. Even more unfortunately, they were very comfortable in their new American homeland. Even today, controlling gypsy moth population is a major challenge for American scientists.

(6) The problem of invasive species is not just that they multiply, but also that they cause great harm to the ecosystem that already exists in the regions they invade. Australia has probably suffered more from invasive species than any other country. Because the Australian continent has been isolated from the rest of the world by water for millions of years, Australian animals evolved independently of larger natural forces. As a result, the Australian environment was unique before human beings ever arrived there. The Aborigines didn't bring very much in the way of new animals to Australia when they arrived there, but European settlers have introduced cane toads, rabbits, and foxes to Australia, and all of these creatures have had disastrous consequences for native Australian plants and animals.

(7) To cope with invasive species, most countries have hired specialists to conduct inspections at customs checkpoints. However, it is nearly impossible to prevent all invasive species from entering a country. Furthermore, as one natural scientist stated, "It is extremely difficult to exterminate an invasive species once it has settled in a region. Of course, the responsibility lies with the humans who brought the invasive species to the regions, and not with the species themselves."

訳 4 ① オオヒキガエルは、体長15cmにもなる大型の動物で、もともと中南米が原産だ。② 本来の生息地では、オオヒキガエルには、それが問題となることはない程度に個体数を低く抑えることにつながる多くの天敵がいる。③ しかし1935年、オーストラリアのある人物がとても賢い考えと思われることを思いついた。アメリカ大陸からオーストラリアにオオヒキガエルを輸入すれば、ヒキガエルはサトウキビのような、オーストラリアの価値ある作物に被害を与えるオーストラリア在来の昆虫を食べてくれる、というものだ。④ 当初それは名案だと思われたが、複雑な自然の力に関わる多くの名案と同様、オオヒキガエルの非常に速い繁殖傾向により、この計画はすぐに目的を逸脱した。

⑤ 別の侵入生物種の例としてマイマイガがいる。⑥ 1860年代、あるアメリカ人実業家が中国産シルク—それはカイコという昆虫を使って作られる—が高価で、儲かる生産物だということに目をつけた。⑦ なんとしてアメリカで絹産業を起す方法はないかと思案したが、残念なことにカイコはある一種の木の葉しか食べることができず、その好物の木が育たない多くの環境では生きることができないのである。⑧ その実業家はしかし、マイマイガという似た種の昆虫を見つけた。⑨ マイマイガは多くの種の葉を食べることができ、彼はアジアからアメリカに数百匹持ち込んだが、そこには自然の天敵がおらず、その個体数は急速に増加した。⑩ 残念ながら、マイマイガは網を作ることができず、経済的には価

- 語句・表現**
- 1.23 cane toad 「オオヒキガエル」
 - 1.23 up to ~ 「～まで、最大～」
 - 1.24 Central and South America 「中南米」
 - 1.24 home region 「本来の地域」
 - 1.27 import 「輸入する」
 - 1.27 the Americas 「南北アメリカ」
 - 1.28 insect 「昆虫」
 - 1.29 sugar cane 「サトウキビ」
 - 1.30 involve 「関連する、巻き込む」
 - 1.30 go off course 「コースからはずれる (→目的を逸脱する)」
 - 1.32 gypsy moth 「マイマイガ」
 - 1.34 silkworm 「カイコ」
 - 1.34 profitable 「(形)儲かる」
 - 1.41 worthless 「価値がない」
 - 1.43 major 「重大な、深刻な」
 - 1.43 challenge 「課題」
 - 1.44 multiply 「繁殖する」
 - 1.45 ecosystem 「生態系」
 - 1.45 region 「地域」
 - 1.47 continent 「大陸」
 - 1.47 isolated 「孤立した」
 - 1.48 independently 「独立して」
 - 1.50 the Aborigines 「アボリジニ」
 - 1.50 in the way of ~ 「～に関しては」
 - 1.53 disastrous 「壊滅的な」
 - 1.53 consequence 「結果」
 - 1.54 cope with ~ 「～に対処する」
 - 1.55 inspection 「検査」
 - 1.55 customs checkpoint 「税関の検問所」
 - 1.55 prevent O from doing 「Oが～するのを防ぐ」
 - 1.56 furthermore 「さらに」
 - 1.58 responsibility lies with ~ 「～に責任がある」

Result: failed because of very fast breeding of the cane toads 結果: オオヒキガエルの非常に速い繁殖力により失敗した
★ We can learn from this: 35 ② 私たちはこのことから学ぶことができる

About the Australian continent オーストラリア大陸について 36 37 9, 9

英文の意図を推論する問題

ポスター中の 35 に入れるのに適切な選択肢 (①~④) を選ぶ。

▶ 第4段落の「オオヒキガエルの計画」から学んだことを推測する。

第3文「ヒキガエルを、作物に被害を与える昆虫の天敵にしようと輸入する」

最終文「(人間にとって) それは名案のように思われた」

→ 「しかし、複雑な自然の力に関わる多くの名案と同様、その計画はすぐに目的を逸脱した」

▶ つまり、第4段落の意図するところは、「名案だと思ってヒキガエルを輸入したがうまくいかなかった」ように、「自然には人間にとって、予知不能で手に負えない力がある」という内容なので、正解は②。

英文の意図を推論する問題

ポスター中の 36 と 37 に入れるのに適切な選択肢 (①~⑤) を選ぶ。

▶ ポスターの見出しにある「オーストラリア大陸について」の記述は、第6段落第2文以降にあるので、その内容を確認する。

第3文「孤立するオーストラリア大陸では、生物は独自の進化をした」

第4文「人間が到達する以前には、独特の環境を持っていた」

▶ 上記2文に一致するのは、⑤。

最終文「入植者が侵入生物種を持ち込み、在来種に大きな被害を与えた」

▶ この1文に一致するのは、③。

第4段落

問3

問3 Choose the best option for 35 on your poster.

- ① human plans involving nature are too complicated
- ② humans cannot always understand how nature works
- ③ humans sometimes make natural forces complicated
- ④ nature is usually too simple to become powerful to human beings

訳 ポスター中の 35 に最も適切な選択肢を選びなさい。

- ① 自然を巻き込む人間の計画はあまりに複雑である
- ② 人間は、自然がどのように作用しているか常に理解できるわけではない
- ③ 人間は時に自然の力を複雑なものにする
- ④ 自然はたいていあまりに単純なので、人間に対して力を振るうことができない

解説/選択肢の研究 ① 「人間の計画が複雑だ」と言っているのではなく、第4段落最終文の complicated は natural forces を修飾しているため、不適。

② 「自然は人間にとって複雑で、必ずしも意図通りの結果を得られない」という文脈に一致するので、正解。

③ 「人間の力で自然の力を複雑にする」のではなく、「人間の計画が自然の力の前ではもくろみ通りにはならない」という内容なので、不適。

④ 「(人間の計画が) 自然の力によって目的を逸脱する」という第4段落最終文後半の内容と一致しないので、不適。

語句 complicated 「複雑な」 not always ~ 「必ずしも～とは限らない」 work 「作用する」 too ... to do 「…すぎて～できない」

第6段落

問4

問4 Choose the best options for 36 and 37 on your poster. (The order does not matter.)

- ① Aborigines have tried many times to get rid of invasive species.
- ② Invasive animals survived human invasion.
- ③ Native Australian species suffered greatly from invasive animals.
- ④ Native species are strong predators of invasive animals.
- ⑤ The environment had once evolved without foreign species.

訳 ポスター中の 36 と 37 に最も適切な選択肢を選びなさい。(順不同)

- ① アボリジニは侵入生物種を駆除しようと何度も努力してきた。
- ② 侵入生物は人間の侵略を生き延びた。
- ③ オーストラリアの在来種は侵入生物により大きな被害を受けた。
- ④ 在来種が侵入生物の強力な天敵である。
- ⑤ その環境はかつて侵入生物なしで進化していた。

解説/選択肢の研究

- ① 「侵入生物種の駆除とその方法」については述べられていないので、不適。
- ② 「人間が侵入生物種を侵略した」という内容は述べられていないので、不適。
- ③ 第6段落最終文の内容に一致。
- ④ 「在来種が侵入生物の天敵」という内容は述べられていないので、不適。
- ⑤ 第6段落第3、4文の内容に一致。

語句 survive 「生き残る」 invasion 「侵略」

値がなかった。⑦そしてさらに不幸なことに、この昆虫にとって新しいアメリカという母国はとても快適な場所だった。⑧今日でさえマイマイガの個体数を制限することがアメリカの科学者にとっての重大な難問である。⑨ ⑩ 侵入生物種の問題は、単にそれらが繁殖するというだけでなく、それらが侵略する地域にすでに存在している生態系に大きな被害を与えるということでもある。⑪ オーストラリアは、おそらく他のどの国よりも侵入生物種に苦しめられてきた。⑫ オーストラリア大陸は海によって何百万年も外界から孤立してきたため、オーストラリアの動物はより大きな自然の力からは独立して進化した。⑬ その結果、オーストラリアの環境は、人間が到来する以前には独特のものだった。⑭ アボリジ

ニがその地に着いたときには、新しい動物という点ではあまり多くをもたらさなかったが、ヨーロッパからの入植者はオオヒキガエル、ウサギ、キツネをオーストラリアに持ち込み、そしてこれらすべての生物がオーストラリア在来の動植物に壊滅的な結果をもたらした。⑮ ⑯ 侵入生物種の対処に、大半の国では税関の検問所で検査を行う専門家を雇っている。⑰ だが、すべての侵入生物種の入国を防ぐことはほぼ不可能だ。⑱ さらに、ある自然科学者が述べたように、「ある地域に侵入生物種が居つてしまうと、それを絶滅させることは極めて難しい。⑲ もちろんその責任は、その侵入生物種をその地域に持ち込んだ人間にあるのであって、その種自体にはない」のだ。

語句・表現

- 1.0 charge for ~「~(の金額)を請求する」
- 1.0 household 「家庭用の」
- 1.0 garbage bag 「ゴミ袋」
- 1.1 various「さまざまな」
- 1.1 viewpoint「観点」
- 1.3 take a position 「立場を決める」
- 1.5 outline「概要」
- 1.5 additional「追加の」
- 【Author B】
- 1.2 throw out 「投げ捨てる」
- 1.2 collection「収集」
- 1.4 properly「適切に」
- 1.4 separate「分ける」
- 1.5 lead to ~ 「~につながる」
- 1.5 therefore 「それゆえに」
- 1.5 strict「厳格な」
- 1.6 separation「分類」
- 【Author C】
- 1.1 collect「集める」
- 1.1 transport「輸送する」
- 1.1 treatment plant 「処理場」
- 1.2 significantly 「著しく、かなり」
- 1.3 commercial 「商業の」
- 1.4 attract「引きつける」
- 1.4 population「人口」
- 1.5 stay on schedule 「予定通りに進む」
- 1.7 disposal「処分、処理」
- 1.8 collector「収集員」
- 【Author D】
- 1.1 entire「全部の」
- 1.3 put pressure on ~ 「~を圧迫する」
- 1.3 local government 「地方自治体」
- 1.3 finances「財政状況」
- 1.5 neighboring 「近隣の」
- 1.5 predict「予測する」
- 1.6 doubt「疑い」
- 1.7 urgent「緊急の」
- 1.7 inevitable 「避けられない」

You are working on an essay about whether or not our city should charge for household garbage bags. You will follow the steps below.

Step 1: Read and understand various viewpoints about charging for household garbage bags.

Step 2: Take a position on whether or not the city should charge for household garbage bags.

Step 3: Create an outline for an essay using additional sources.

[Step 1] Read various sources

1 Author A (Citizen)

(割愛)

2 Author B (Citizen)

Recently, more and more people are living in this city because many new houses have been built. A lot of garbage is being thrown out on garbage collection days. It seems that the amount of garbage has increased compared to before. Also, I often see various types of garbage mixed together in a single bag. Properly separated waste can be recycled, which will lead to less garbage. Therefore, I think that the city should make stricter rules for the separation of garbage.

3 Author C (Garbage collection worker)

As a city employee, I collect garbage and transport it to the treatment plant every week. I feel that the amount of garbage in this city has increased significantly over the past few years. This is because new commercial facilities were built in front of the train station a few years ago, attracting many new people to the city. With the increased population, my work now takes longer than before. It is becoming difficult for me to stay on schedule. If the city starts charging for garbage bags, the income can be used to pay for the increasing garbage disposal costs. Also, I heard that part of the income will be used to hire more garbage collectors. That would be good news for us.

4 Author D (Mayor)

Today, the city pays the entire cost of garbage disposal, and the amount continues to increase every year. The cost for this year is expected to be 1.4 times that of last year, putting pressure on the local government's finances. That is why new city facilities have not been built in recent years. This city's finances are in a very difficult situation compared to neighboring cities. However, it is predicted that the cost of garbage disposal will keep going up in the future, and there is no doubt that solving this problem is an urgent task. Charging for garbage bags is necessary and inevitable.

5 Author E (Citizen)

(割愛)

【訳】 あなたは、私たちの市が家庭用ゴミ袋を有料化すべきかどうかに関する作文に取り組んでいます。あなたは以下の手順に従います。
 手順1：家庭用ゴミ袋の有料化に関するさまざまな見解

を読み、理解する。
 手順2：家庭用ゴミ袋を有料化すべきか否かの立場を決める。
 手順3：追加の資料を用いて作文の概要を作成する。

二者がともに言及している内容を選ぶ

筆者B、C両方の主張をまとめる。

▶筆者B

- 第1文「最近、新しい家と人が増えている」
- 第2～4文「ゴミの量が増え、分別されていないゴミもある」
- 第5文「リサイクルすればゴミを減らせる」
- 最終文「分別ルールを厳しくすべき」

▶筆者C

- 第1～5文「ここ数年で人が増えたことでゴミが増え、ゴミ収集に時間が長くなる」
- 第6～最終文「ゴミの有料化で得た収入は、ゴミ処理費用や収集員の増員のために利用できる」

▶以上から、④が正解。

筆者の言及内容に一致するものを選ぶ

筆者Dの言及内容を冒頭から確認する。

第1～4文

「ゴミ処理費用は年々増加し、自治体の財政を圧迫している」
→ ②に不一致、①に一致

第5文

「今後も費用が増加することが予想され、問題解決は急務」

最終文

「ゴミ袋の有料化は必要かつ不可避」

▶③④の内容には言及がないので、①が正解。

【手順1】さまざまな資料を読む

1 (割愛)

2 筆者B (市民)

①最近、新しい家がたくさん建てられてきたので、ますます多くの人がこの市に住むようになっている。②ゴミ収集日には大量のゴミが捨てられている。③以前と比べると、ゴミの量は増えているようだ。④また、1つの袋にさまざまな種類のゴミが混ざっているのをよく見かける。⑤きちんと分別されたゴミはリサイクルできるため、ゴミの量を減らすことにつながる。⑥そのため、市はより厳しいゴミの分別ルールを作るべきだと思う。

3 筆者C (ゴミ収集作業員)

①市の職員として、私は毎週ゴミを収集し、処理場に運んでいる。②私は、ここ数年でこの市のゴミの量が増えていると感じる。③それは、数年前に新しい商業施設が駅前にできて、多くの新しい人をしに引き寄せているためだ。④人口が

増えたことで、私の仕事は以前より時間がかかる。⑤スケジュールを守るのが難しくなってきた。⑥市がゴミ袋の有料化を始めたら、その収入は増加するゴミの処理費用に充てることができる。⑦また、収入の一部は、もっとゴミ収集員を雇うのに使われると聞いた。⑧それは私たちにとってはよい知らせだ。

4 筆者D (市長)

①現在、ゴミ処理費用はすべて市が払っており、その額は毎年増え続けている。②今年の費用は昨年の1.4倍になると予想され、自治体の財政を圧迫している。③そのため近年、市の新しい施設が建設されていない。④この市の財政は近隣の都市に比べて非常に厳しい状況にある。⑤しかし、ゴミ処理の費用は今後も増え続けると予想され、この問題の解決が緊急の課題であることは間違いない。⑥ゴミ袋の有料化は必要で避けられないことだ。

5 (割愛)

問1

問1 Both Authors B and C mention that [38].

- ① garbage disposal facilities need to dispose of garbage in a more environmentally friendly way
- ② the time it takes to dispose of garbage continues to increase year by year
- ③ the total amount of garbage has increased, but the amount of recycled garbage has also increased
- ④ there is some relationship between the increase in population and the increase in garbage

【訳】 筆者B、Cのどちらも[38]ということに言及している。

- ① ゴミ処理施設は、より環境に優しい方法でゴミを処理する必要がある
- ② ゴミを処理するのにかかる時間が、年々増加し続けている
- ③ ゴミの総量が増えているが、リサイクルされるゴミの量も増えている
- ④ 人口の増加とゴミの増加には一定の関係がある

【選択肢の研究】

- ① 筆者B、Cに「環境に優しい方法でのゴミ処理」に関する言及はないので、不適。
- ② 筆者Bに「ゴミ処理にかかる時間が年々増えている」という発言はない。筆者Cはゴミの回収時間に触れているが、ゴミ処理時間への言及はない。不適。
- ③ 筆者B、Cともに「ゴミの量が増えている」という発言はあるが、「リサイクルされるゴミの量も増えている」という発言はないので、不適。
- ④ 筆者Bの第1～3文、筆者Cの第2～4文に一致。

【語句】 mention「述べる、言及する」 relationship「関係」

問2

問2 Author D implies that [39].

- ① the city doesn't have enough money because of the cost of garbage disposal
- ② the cost of garbage disposal in this city is 1.4 times that of neighboring cities
- ③ the main reason the city's finances are so tight is the large number of elderly people
- ④ there is not an urgent need for welfare facilities for the elderly

【訳】 筆者Dは、[39]ということを示唆している。

- ① ゴミ処理費用のために、市には十分なお金がない
- ② この市のゴミ処理費用は近隣の市の1.4倍になる
- ③ 市の財政がとても厳しい主な理由は、高齢者の多さである
- ④ 高齢者のための福祉施設は緊急に必要なものではない

【選択肢の研究】

- ① 第1～4文に一致するため、これが正解。
- ② 第2文に「今年の(ゴミ処理の)費用は昨年の1.4倍」とあるが、これは近隣の市と比較した数字ではないため、不適。
- ③ 高齢者についての言及はないため、不適。
- ④ 高齢者施設についての言及はないため、不適。

【語句】 imply「ほのめかす、暗に示す」 tight「厳しい」 welfare「福祉」

語句・表現

[Author A]

- 1.1 reduce 「減らす」
- 1.2 amount 「量、(金)額」
- 1.2 waste 「廃棄物」
- 1.2 generate 「生み出す」
- 1.2 turn out ~ 「~になる、進行する」
- 1.3 negative 「悪い」
- 1.3 effect 「効果、影響」
- 1.3 in terms of ~ 「~の点で(の)」
- 1.3 increase 「増やす」
- 1.3 expense 「費用」
- 1.4 income 「所得」
- 1.4 difficulty 「困難」
- 1.5 priority 「優先事項」
- 1.5 provide 「供給する」
- 1.5 facility 「施設」
- 1.5 dispose of ~ 「~を処分する」
- 1.5 environmentally friendly 「環境によい」

[Author E]

- 1.1 possibility 「可能性」
- 1.1 illegal 「違法の」
- 1.1 dumping 「投棄」
- 1.2 in addition 「加えて、その上」
- 1.2 burn 「燃やす」
- 1.3 trash 「ゴミ、くず」
- 1.4 impact 「影響」
- 1.4 environment 「環境」
- 1.4 decline 「低下」
- 1.4 quality 「質」
- 1.6 in order to do 「~するために」
- 1.6 maintain 「維持する」

[設問]

問3 now that SV

「今やSVなので」

問3② effort 「努力」

問3② minimize

「最小限にする」

問3④ burden 「負担」

問3④ overlook

「見過ごす」

1 Author A (Citizen)

Many people around me believe that charging for garbage bags will help reduce the amount of waste that people generate. However, things don't always turn out as expected. And the negative effects in terms of increasing people's expenses for garbage bags are greater. For example, people with low incomes may have difficulty buying garbage bags. The first priority should be providing facilities to dispose of waste in an environmentally friendly way, not charging for garbage bags.

2 Author B (Citizen)

Recently, more and more people are living in this city because many new houses have been built. A lot of garbage is being thrown out on garbage collection days. It seems that the amount of garbage has increased compared to before. Also, I often see various types of garbage mixed together in a single bag. Properly separated waste can be recycled, which will lead to less garbage. Therefore, I think that the city should make stricter rules for the separation of garbage.

3 Author C (Garbage collection worker)

As a city employee, I collect garbage and transport it to the treatment plant every week. I feel that the amount of garbage in this city has increased significantly over the past few years. This is because new commercial facilities were built in front of the train station a few years ago, attracting many new people to the city. With the increased population, my work now takes longer than before. It is becoming difficult for me to stay on schedule. If the city starts charging for garbage bags, the income can be used to pay for the increasing garbage disposal costs. Also, I heard that part of the income will be used to hire more garbage collectors. That would be good news for us.

4 Author D (Mayor)

Today, the city pays the entire cost of garbage disposal, and the amount continues to increase every year. The cost for this year is expected to be 1.4 times that of last year, putting pressure on the local government's finances. That is why new city facilities have not been built in recent years. This city's finances are in a very difficult situation compared to neighboring cities. However, it is predicted that the cost of garbage disposal will keep going up in the future, and there is no doubt that solving this problem is an urgent task. Charging for garbage bags is necessary and inevitable.

5 Author E (Citizen)

If the city starts charging for garbage bags, there is a possibility that illegal dumping, such as throwing garbage on the street, will increase. In addition, more people will start burning trash in their gardens. This will not only pollute the city, but it will also have a negative impact on the city's future environment. It could lead to a decline in our quality of life. I have lived in this city for a long time, and I love it. It's a beautiful city now. I think that in order to maintain the environment of this city, it should not charge for garbage bags.

[訳] 1 筆者A(市民)

私の周りの多くの人は、ゴミ袋を有料化することで、人々が出すゴミの量を減らす助けになると思っている。しかし、物事は期待通りには限らない。人々のゴミ袋への出費が増えるという点で、弊害の方が大きい。例えば、低所得者にとっては、ゴミ袋を買うことが困難かもしれない。

最も優先すべきことは、ゴミ袋を有料化することではなく、環境によい方法でゴミを処分できる施設を提供することだ。

2 筆者B(市民) 最近、新しい家がたくさん建ってきたので、ますます多くの人がこの市に住むようになっている。ゴミ収集日には大量のゴミが捨てられて

各筆者の主張の要旨を理解する

40 41

立場は「家庭用ゴミ袋を有料化すべきだ」なので、ゴミ袋有料化に「賛成」している筆者を選ぶ。

筆者A 第3、最終文

「ゴミ袋への出費が増えるという弊害の方が大きい。ゴミ袋の有料化ではなく、環境によい方法でゴミを処分する施設を提供すべき」 → ゴミ袋有料化に「反対」

筆者B 最終文

「ゴミの分別ルールを厳しくすべき」 → ゴミ袋の有料化に「中立」

筆者C 第4～最終文

「ゴミ袋有料化による収入がゴミ処理費用やゴミ収集員の増員に充てられるのであれば、それはよい知らせだ」 → ゴミ袋有料化に「賛成」

筆者D 第5、最終文

「増加し続けるゴミ処理費用の問題を解決するために、ゴミ袋の有料化は必要で避けられない」 → ゴミ袋有料化に「賛成」

筆者E 最終文

「市の環境を維持するためには、ゴミ袋を有料化すべきでない」 → ゴミ袋有料化に「反対」

よって、正解は③「C」と④「D」。

42

問われているのは、先の設問で選んだ2人の筆者の主張の内容。

よって、上記の「筆者C」「筆者D」の言及内容から、④が正解。

問3

[Step 2] Take a position

問3 Now that you understand the various viewpoints, you have taken a position on whether the city should charge for household garbage bags, and have written it out as below. Choose the best options to complete 40, 41, and 42.

Your position: Our city should charge for household garbage bags.

● Authors 40 and 41 support your position.

● The main argument of the two authors: 42.

Options for 40 and 41 (The order does not matter.)

① A ② B ③ C ④ D ⑤ E

Option for 42

① Charging for garbage bags will help reduce the amount of garbage

② Efforts must be made to minimize waste in each household

③ It is important to dispose of garbage in an environmentally friendly way

④ The increasing amount of city garbage has become a burden that cannot be overlooked

[訳] [手順2] 立場を決める

今あなたはさまざまな見解を理解したので、市が家庭用ゴミ袋を有料化すべきかについての立場を決め、以下のように書き出した。40、41、42を完成させるのに最も適切な選択肢を選びなさい。

あなたの立場: 私たちの市は家庭用ゴミ袋を有料化すべきだ。

● 筆者40と41はあなたの立場を支持している。

● 2人の筆者の主な主張: 42。

40と41の選択肢(順不同)

① A ② B ③ C ④ D ⑤ E

42の選択肢

① ゴミ袋を有料化すれば、ゴミの量を減らす助けになる

② 各家庭でゴミを最小限にする努力をしなければならない

③ 環境によい方法でゴミを処理することが重要だ

④ 市のゴミの量の増加は、見過ごすことのできない負担になっている

選択肢の研究

40 41 左の解説を参照。

42

① 「ゴミ袋の有料化によってゴミが減る」という言及が筆者C、Dともないので、不適。

② 「各家庭でゴミを最小限にする努力」についての言及が筆者C、Dともないので、不適。

③ 「環境によい方法でのゴミ処理」についての言及が筆者C、Dともないので、不適。

④ 筆者Cの第4、5文の内容と、筆者Dの第5文の内容に一致。

いる。③以前と比べると、ゴミの量は増えているようだ。④また、1つの袋にさまざまな種類のゴミが混ざっているのをよく見かける。⑤きちんと分別されたゴミはリサイクルできるため、ゴミの量を減らすことにつながる。⑥そのため、市はより厳しいゴミの分別ルールを作らなければならないと思う。

3 筆者C(ゴミ収集作業員) ①市の職員として、私は毎週ゴミを収集し、処理場に運んでいる。②私は、ここ数年でこの市のゴミの量が増加していると感じる。③それは、数年前に新しい商業施設が駅前できて、多くの新しい人をしに引き寄せているためだ。④人口が増えたことで、私の仕事は以前より時間がかかる。⑤スケジュールを守るのが難しくなってきた。⑥市がゴミ袋の有料化を始めたら、その収入は増加するゴミの処理費用に充てることができる。⑦また、収入の一部は、もっとゴミ収集員を雇うのに使われると聞いた。⑧それは私たちにとってはよい知らせだ。

4 筆者D(市長) ①現在、ゴミ処理費用はすべて市

が払っており、その額は毎年増え続けている。②今年の費用は昨年の1.4倍になると予想され、自治体の財政を圧迫している。③そのため近年、市の新しい施設が建設されていない。④この市の財政は近隣の都市に比べて非常に厳しい状況にある。⑤しかし、ゴミ処理の費用は今後も増え続けると予想され、この問題の解決が緊急の課題であることは間違いない。⑥ゴミ袋の有料化は必要で避けられないことだ。

5 筆者E(市民) ①もし市がゴミ袋を有料化すれば、路上にゴミを捨てるような不法投棄が増える可能性がある。②加えて、庭でゴミを燃やすようになる人が増えるだろう。③これにより、市内が汚染されるだけでなく、市の今後の環境にも悪影響を与えることになるだろう。④私たちの生活の質の低下につながる可能性がある。⑤私はこの市に長く住んでいて、ここが大好きだ。⑥今は美しい市である。⑦私は、この市の環境を維持するためには、ゴミ袋を有料化すべきでないと考える。

語句・表現

- 1.0 benefit 「利益を与える、利益」
- 1.0 effective 「効果的な」
- 1.0 behavior 「行動」
- 1.1 whether or not 「～かどうか」
- 1.2 in general 「一般に」
- 1.2 oppose 「反対する」
- 1.3 focus on 「～に焦点を当てる」
- 1.4 inform 「知らせる」
- 1.4 citizen 「市民」
- 1.4 positive 「好ましい、プラスの」
- 1.5 proposal 「提案」
- 1.7 tax 「税」
- 1.7 revenue 「収入」
- 1.7 improve 「改善する」
- 1.8 enhance 「(質などを) 高める」
- 1.10 attractive 「魅力的な」
- 1.1 survey 「調査」
- 1.1 conduct 「実施する」
- 【グラフ】
- unnecessary 「不必要な」
- awareness 「意識」
- issue 「問題」
- product 「製品」
- 【設問】
- 問4 appropriate 「適切な」
- 問4 ① process 「処理する」
- 問4 ① efficiently 「効率的に」
- 問4 ② eventually 「最終的に」
- 問5 statement 「意見」
- 問5 ① multiple 「多数の」
- 問5 ② useless 「無駄な」
- 問5 ③ pleasure 「楽しみ、喜び」
- 問5 ④ quarter 「4分の1」
- 問5 ④ be satisfied with 「～に満足する」

[Step 3] Create an outline using Sources A and B

Outline of your essay: 作文の概要:

Charging for household garbage bags is a good idea

家庭用ゴミ袋の有料化はよい考えだ

Introduction 導入

In this city, the amount of garbage is increasing, which is becoming a problem. One way to solve this is to charge for garbage bags.

この市では、ゴミの量が増えており、それが問題となりつつある。これを解決する1つの方法が、ゴミ袋を有料化することである。

Body 本論

- Reason 1: [From Step 2] 理由1: [手順2から]
- Reason 2: [Based on Source A] 理由2: [資料Aに基づいて] 43 ②
- Reason 3: [Based on Source B] 理由3: [資料Bに基づいて] 44 ①

Conclusion 結論

Charging for household garbage bags will not only benefit the city, but will also be effective for changing people's behavior.

家庭用ゴミ袋の有料化は、市に利益をもたらすだけでなく、人々の行動を変えるのにも効果的だ。

Source A

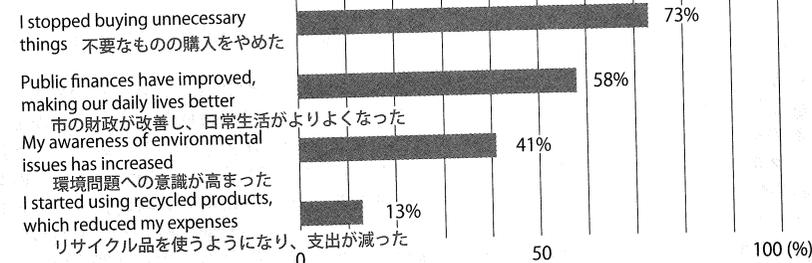
Many local governments are wondering about whether or not to charge for household garbage bags. In general, many people oppose the idea. However, in many cases, they focus only on the increase in people's costs, and the benefits of charging for bags are often forgotten. Therefore, the city needs to inform its citizens about the positive impacts this proposal would have. According to one study, when comparing before and after a city started charging for garbage bags, it was found that the amount of garbage was reduced. Even better, the city's tax revenue also improved. As a result, various city services could be improved. For example, the city can use the income to enhance garbage disposal facilities. It could also build a park or offer new services for the elderly. These will make the city more attractive.

Source B

A survey was conducted among people over the age of 18 in cities that already charge for garbage bags. The results show that many people support charging for garbage bags. The graph below shows why.

What changed after the city started charging for garbage bags

市がゴミ袋有料化を始めてから、何が変わったか



加したのだ。その結果、様々な市のサービスの改善が可能になった。例えば、市はその収入をゴミ処理施設の拡充に使うことができる。また公園を作ったり、高齢者向けの新しいサービスを提供したりすることもできる。これらは市をより魅力的にするだろう。

資料B すでにゴミ袋が有料化されている市に住んでいる18歳超の人々に、ある調査が行われた。その結果は、多くの人々がゴミ袋の有料化を支持していることを示している。下のグラフは、その理由を示している。

【訳】 [手順3] 資料AとBを使って概要を作成する

資料A 多くの地方自治体が、家庭用ゴミ袋を有料化するかどうかについて迷っている。一般的に、多くの人々がその考えに反対する。しかし多くの場合、人々にかかる費用の増加のみに焦点を当て、袋を有料化することの利点については、よく忘れられている。そのため、市はこの提案がもたらすよい影響について、市民に知らせる必要がある。ある研究によると、市がゴミ袋の有料化を始める前と後で比べると、ゴミの量が減少したことがわかった。さらによいことに、市の税収も増

資料の要旨を把握する

「資料A」を冒頭から確認する。

第1～4文

「多くの人がゴミ袋有料化の利点に目を向けられないので、市はそれを市民に知らせる必要がある」

第5～7文

「ゴミ袋有料化に関するある研究結果によると、有料化によってゴミの量が減り、税収が増えたことで、市のサービスの改善が可能になった」
→ ②「ゴミ袋有料化が市のサービス向上につながる」で言い換え。

最終文

「(有料化によってもたらされる利点によって、) 市はより魅力的になる」

▶ よって、②が正解。

図表の読み取り

各選択肢中の「調査結果の説明」部分が「資料B」中のグラフの数値と一致しているか確認する。

▶ ①

「約半数の人が、生活がよくなったと感じている」 → ○ (58%)
「約5分の2 (=約40%) の人が環境について考えることが増えたと感じている」 → ○ (41%)

▶ ②

「半数超が無駄なものを買わなくなった」 → △ (73%)
「ほぼ20%の人がリサイクル品を使用している」 → × (13%)

▶ ③

「ほぼ同数 (=半数超) が、使うお金の額が減った」 → × (13%)

▶ ④

「4分の3超 (=75%超) の人がものの買い方を変えた」 → × (73%)

▶ よって、情報に誤りがない①が正解。

Based on Source A, which of the following is the most appropriate for Reason 2?

43

- ① A new garbage disposal site will be able to process trash more efficiently.
- ② Charging for garbage bags will eventually lead to improved city services.
- ③ Many people already understand the benefits of charging for garbage bags.
- ④ The sooner it starts charging for garbage bags, the better the effects will be.

【訳】 資料Aに基づけば、次のうち理由2に最も適切なものはどれか。43

- ① 新しいゴミ処理場によって、ゴミをより効率的に処理できるようになるだろう。
- ② ゴミ袋有料化は、最終的に市のサービス向上につながるだろう。
- ③ 多くの人が、ゴミ袋有料化の利点をすでに理解している。
- ④ 市がゴミ袋有料化を早く始めるほど、効果がより大きくなる。

【選択肢の研究】

- ① 第8文に「ゴミ処理施設の拡充」とあるが、新しいゴミ処理場の建設に関する記述はないので、不適。
- ② 第5～7文に一致。
- ③ 第2、3文「たくさんの方が有料化に反対し、多くの場合、袋の有料化の利点は忘れられている」に不一致。
- ④ 有料化を始める時期とその効果の関係についての記述はないので、不適。(the + 比較級~, the + 比較級...) 「～すればするほど、ますます…」

For Reason 3, you have decided to write, "It will help improve people's awareness." Based on Source B, which option best supports this statement?

44

- ① About half of the people feel that their lives have gotten better, and about two-fifths feel that they think about the environment more. Charging for garbage bags has multiple positive effects.
- ② More than half no longer buy useless items, and almost 20% use recycled items. People are using things for longer times than ever before.
- ③ More than half feel that the city has become better for living, and about the same number spent less money. People have found pleasures other than buying things.
- ④ More than three-quarters of the people have changed the way they buy things, and they are satisfied with this. People no longer buy useless things.

【訳】 理由3には、「人々の意識向上に役立つ」と書くことに決めた。資料Bに基づけば、この意見を最もよく支持している選択肢はどれか。44

- ① 約半数の人が、生活がよりよくなったと感じており、約5分の2の人が、環境について考えることが増えたと感じている。ゴミ袋の有料化には、いくつものよい効果がある。
- ② 半数超が無駄なものを買わなくなり、ほぼ20%がリサイクル品を使用している。これまでになく、人々はものを長く使うようになっている。
- ③ 半数超が、その市での生活がしやすくなったと感じており、ほぼ同数が、使うお金の額が減った。人々はものを買うこと以外の楽しみを見つけた。
- ④ 4分の3超の人がものの買い方を変え、そのことに満足している。人々はもう無駄なものを買わない。

【選択肢の研究】

- ① 「約半数の人が、生活がよくなったと感じている」「約5分の2 (=約40%) の人が環境について考えることが増えたと感じている」のどちらも、グラフの内容と一致する。よって、これが正解。
- ② 「無駄なものを買わなくなった」の割合については、グラフでは不要なものの購入をやめた人が73%に上ることから、「半数超」では物足りない。また、「ほぼ20%がリサイクル品を使用している」については、グラフ上で13%となっている。「ほぼ20%」と言える割合ではないので、不適。
- ③ 「ほぼ同数 (=半数超) が、使うお金の額が減った」の部分がグラフの内容に不一致。
- ④ 「4分の3超 (=75%超) の人がものの買い方を変え」の部分がグラフの内容に不一致。